

## 熊本県八代市 八代市グリーン・ツーリズム

<http://www.yokatoko.info/>

### 問合せ先

窓口名：八代よかご宣伝隊  
住所：熊本県八代市萩原町1-1-1 JR八代駅内  
TEL：0965-31-8200 FAX：0965-32-2334  
E-mail：yccpc-kazu@muse.ocn.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：福岡市  
集合場所：JR新八代駅  
車の場合：120分  
鉄道の場合：120分



## 受入概要

八代市は豊かな自然が存在し、多彩な農林水産業が営まれている事で、子どもたちに多彩な体験活動の機会を提供することができる。

そこに生活する農林漁業者と生活を共にする事で、家族の一員となって農作業や農村を体験し、食卓を囲み、会話をし、様々な体験と、心の交流を深めることに重点をおく。

また、この経験が農林水産業に対する理解の醸成や職業感の形成を促すことにつながると考える。

また、八代市には平成23年に全線開通する九州新幹線の駅があり、九州で唯一、新幹線で直接アクセスできる。交通利便性の高い地域。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

九州の概ね中央に位置し、総面積は約680平方キロ、約7割が山間地、約3割が平野部で構成されている。

山間地は、泉町の国見岳(1,739m)を最高峰として九州山地の脊梁地帯に属し、平家落人伝説が語り継がれる秘境五家荘など、歴史と自然豊かな地域を有している。また、全域が九州山地に属し、県を代表する紅葉の景観地であるほか、ブナの原生林や県天然記念物の久連子鶏など、貴重な動植物が生息している。

平野部は球磨川・氷川により形成された平野と、江戸時代からの干拓に由来する広大な平野を有している。また、日本三大急流の球磨川及び市北部に位置する氷川の両水系に由来する豊かな土地が広がり、江戸時代から盛んに干拓事業がおこなわれてきた。これにより九州第6位の農業産出額(H18・284億円)の大農産地を形成したほか、臨海工業用地や港湾施設の充実により、日本製紙八代工場等に代表される県下有数の工業都市としても発展している。

### 歴史・文化的な特色

市中心部にある八代城は、一国一城令にもかかわらず幕府から築城の許可を得られたものであり、この地域がいかに幕府にとって重要な拠点であったかを示す歴史的な証拠である。

市を代表する祭りである「妙見祭」は、約1300年前に中国から妙見神が亀蛇(きだ)に乗って八代に上陸したという故事にもとづき、江戸時代からおこなわれたもので、巨大なガメ(亀蛇のオブジェ)や飾馬等から構成される神幸行列が、八代神社(妙見宮)へお上りするもので、県指定重要民俗文化財であるほか、九州三大祭りの一つと言われている。

### 農林水産業の特色

【漁業】八代海は昔からの好漁場であり、太刀魚、八モ、コノシロ等が有名である、山間部の川魚についても、ヤマメ、アユなどが採取されている。

【農林畜産】農業産出額、面積、農業者数いずれも熊本県を代表する農産地である。

平野部は日本一の生産量を誇るい草・畳表、トマトの大産地であるほか、メロン、キャベツ等葉物野菜、水稻が生産されている。また、果樹では同じく日本一の生産量である晩白柚(ばんぺいゆ)の他、様々な柑橘類(うんしゅうみかん、不知火(デコポン)、甘夏等)が栽培されている。

なお、市の代表的特産物である晩白柚は、その果実サイズにおいて世界一の柑橘類とされている。

山間部は、東陽町のショウガ、県内有数の泉町のお茶がよく知られている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|---------|
| 軒数       | 11         | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 55         | 50      |
| 料金       | 6600~6300円 | 6000円~  |

## おすすめ体験学習プログラム

### お茶摘み体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

4月下旬～7月上旬まで

【内容】

霧深い谷間で、寒暖の激しい地域だからこそ味わいある茶ができ、機械の入らない場所だからこそ手摘みにこだわる。

### やつしろ舟出浮き（所要時間 240 分・漁業体験）

【期間】

5月中旬～11月中旬まで

【内容】

昔八代を治めていた殿様が舟遊びをされたことに由来する「舟出浮き」を体験。定置網・籠を設置している漁場に船で向かい、漁師の仕事を間近で見ることができる体験。



漁師の仕事を間近で体験

### 川俣川 de 沢登体験（所要時間 - ・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

6月下旬～9月中旬まで

【内容】

沢を登りながら自然とのふれ合い。

### 竹細工づくり体験（所要時間 180 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

手入れがいきとどいていない竹林の間伐をおこない、間伐した竹を利用して竹箸、マイコップを作成。体験で竹林間伐をおこなうことで放置竹林に手を加え竹林の再生を図る。



竹細工づくり体験

### 晩白柚収穫体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

11月下旬～2月上旬まで

【内容】

ギネスブックにも認定されている晩白柚を収穫する体験。

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 農村生活と野外体験                                                                                                        | 実施時期 | 5月上旬～10月下旬まで |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| ねらい  | 児童が、松前町の特徴ある自然・農漁業を体験し、チャレンジするとともに、農漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動している“生きる力”を培うこと。 |      |              |

| 日   | 時間帯 | プログラム名            | 学習内容                      |
|-----|-----|-------------------|---------------------------|
| 1日目 | 午前  | 現地移動              |                           |
|     | 午後  | 入村式（地域に関する情報交換など） | "挨拶・自己紹介・情報交換会            |
| 2日目 | 宿泊  | 公的宿泊施設「五家荘 自然塾」   | 郷土料理体験"                   |
|     | 午前  | 炭焼き体験             | 団体生活を経験することにより、協調性などを学ぶ   |
| 3日目 | 午後  | 郷土料理体験            | インストラクター指導による炭焼き体験を行う     |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設「五家荘 自然塾」   | "地域で山菜の採取                 |
| 4日目 | 午前  | 鹿の角を使った細工作り体験     | 採取した山菜を利用し、郷土料理づくりをする。"   |
|     | 午後  | 農林漁家での生活体験        | 団体生活を経験することにより、協調性などを学ぶ   |
| 5日目 | 宿泊  | 農林漁家民宿            | インストラクター指導による鹿の角を使った体験を行う |
|     | 午前  | 森林間伐体験（全児童参加）     | "対面式：各農林漁家泊先との対面し、自己紹介する。 |
| 5日目 | 午後  | 農林漁家での生活体験        | 各農林漁家宿泊先での体験"             |
|     | 宿泊  | 農林漁家民宿            | 農林漁家受入先と生徒が会話を通して交流を図る。   |
| 5日目 | 午前  | 離村式               | 森林が果たす役割の説明と間伐体験を行う       |

## 熊本県阿蘇市 阿蘇子ども農山村交流プロジェクト受入センター

<http://www.aso.ne.jp/codomo-center/>

### 問合せ先

窓口名：(公財) 阿蘇グリーンストック  
住所：熊本県阿蘇市の石 1537-1  
TEL：0967-35-1110 FAX：0967-35-1151  
E-mail：green-m@aso.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：熊本市  
集合場所：阿蘇市農村公園あびか  
車の場合：100分  
鉄道の場合：90分



## 受入概要

阿蘇地域は広いので、受入実施地域をブロック化し、その中で農家民泊や体験等を組み合わせたモデルプランをつくり、学校側へ提案していく。阿蘇ならではの多様なプログラムを組み合わせることにより、阿蘇の自然、文化、農林業を子どもたちが体験を通して楽しく学べるようにしていく。体験は実施プログラムを多数持っているが、それを運用するというだけでなく、自然景観や文化資源を活かしたオリジナルプログラムを活かして進めたいと考えている。

宿泊は、体験交流施設（やすらぎ交流館や阿蘇ゆたつと村）や農家民泊などを活用し、普段の農家の暮らしと一緒に体験する雰囲気を進めていきたいと考えている。農家民宿や民泊においては、食育の面も考慮し、野菜や米がどのようなようにつくられ方をしているかを伝えていきたい。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特徴

当団体の手配による長期宿泊及び各種体験は、阿蘇地域広域で実施することになるが、その起点になるターミナル機能を果たす施設をそれぞれのブロックに有している。

ターミナル施設から宿泊施設、体験受け入れ施設までは、車で10分～40分の範囲で点在している状態にある。

九州自動車道の熊本インターチェンジから60分、阿蘇くまもと空港からも50分、熊本市内から1時間40分くらいの位置にある。

世界最大級のカルデラを持つ火山と連綿と続く大草原は、日本ではあまり見られない景観として有名で、「世界遺産」への登録申請も計画されている。それらの草原の中に、熊本・福岡・大分・宮崎に流れる河川の源流域があり、「九州の水がめ」とも呼ばれている。

阿蘇伏流水として自噴する水源も多く、全国名水百選に選ばれた池山水源等があり、温泉も数多く、民家や水田、畑が点在する平野部が海拔450メートル～500メートル、外輪山の部分が800メートル～900メートル、阿蘇山上が1500メートルと高地にあり、夏期冷涼な気候である。

### 歴史・文化的な特徴

阿蘇開拓の神話や伝説が多数残っており、阿蘇神社を中心に各地区に多くの神社等があり、お寺も西日本でもっとも古い歴史を持つ西蔵殿寺など多数ある。

夏目漱石や与謝野鉄幹が宿泊したといわれる古い旅館や文学碑・参勤交代の史跡、国指定重要無形民俗文化財「中江岩戸神楽」や「横堀岩戸神楽」などが残っている。

祭りの伝統的な食文化が残っており、それらを受け継ぐ「ふるさと食の名人」等の人材も多い。

### 農林水産業の特徴

【農林畜産】 海拔200～1000m以上の標高差があり、様々な施設園芸（野菜・花き）や稲作が盛んで、世界の「阿蘇」カルデラに連なる草原には肉用牛の放牧が行われている。特に、熊本・福岡・大分・宮崎に流れる河川の源流域として「九州の水がめ」と呼ばれる水に恵まれ、夏季冷涼な気候を生かした有機減農薬栽培にも適している。

主な農作物は、米、夏秋トマト、だいこん、キャベツ、ほうれんそう、かんしょ、酪農、肉用牛（子牛）等。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊 | 農林漁家民宿 | 公設の宿泊施設 |
|----------|--------|--------|---------|
| 軒数       | 97     | 15     | 4       |
| 最大宿泊可能人数 | 250    | 115    | 270     |
| 料金       | 8400円～ | 8400円～ | 4200円～  |

## おすすめ体験学習プログラム

### 溪流遊び体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

7月～8月まで

【内容】

阿蘇外輪山の源流域での沢散策を行う。昔ながらの五右衛門風呂で足湯体験。

### 田植え体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5月～まで

【内容】

はだしで田んぼの中に入って、手植えを体験。

### 酪農場体験（所要時間 120 分・その他）

【期間】

通年

【内容】

搾乳レーンの見学、乳搾り、餌やり、そして子牛の哺乳などの酪農家の生活体験。

### ススキのふくろうづくり体験（所要時間 120 分・クラブ体験）

【期間】

9月～10月まで

【内容】

ススキの穂を使った、ふくろう（人形）を作る。



### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 大阿蘇のんびり暮らし体験                                                                                                                                          | 実施時期 | 9月～3月まで |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------|
| ねらい  | 児童が阿蘇地域の農林業を農家とともに体験することで、毎日の食事と農業との関係や、水を含めた環境と農林業との係わりについて、知識と生活体験を結びつけることができるようになる。また、受入農家等との交流によって、日頃とは異なった立場や考え方に触れ、価値観の多様性や「生きる力」を体得することを目的とする。 |      |         |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                            | 学習内容                                                                            |
|-----|-----|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 入村式                               | ゆたっと村の昔の農機具展示場を見学・使用方法や昔の暮らしを地元の方に教えてもらう                                        |
|     | 午後  | 昔の農機具展示場見学と自然遊び（薪割り、小枝の箸づくり）      | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす                                                            |
|     | 宿泊  | やすらぎ交流館（70人）と阿蘇ゆたっと村（30人）に分宿      | インストラクターの指導で、やすらぎ交流館とゆたっと村の食べ物作りプログラムを実施<br>体験したもので昼食を摂ることができる                  |
| 2日目 | 午前  | ・そば打ち体験 ・手作りピザ作り体験<br>・手作りお菓子作り体験 | インストラクターの指導で、やすらぎ交流館とゆたっと村の食べ物作りプログラムを実施<br>体験したもので「おやつ」を摂ることができる               |
|     | 午後  | 手作りお菓子（毎大福、ロールケーキ等）作り体験等（いずれか選択）  | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす                                                            |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設（70人）と民間宿泊施設（30人）に分宿        | 阿蘇の特徴である草原、水の重要性を体感する企画。牧野の方の協力も得て実施<br>午前・午後のプログラムを入れ替えて、参加者全員が同じ体験をすることが可能    |
| 3日目 | 午前  | 茅刈りと紙漉き                           | 阿蘇の特徴である草原、水の重要性を体感する企画。牧野の方の協力も得て実施<br>（雨天時は、代替メニューへと変更可能）民泊農家との対面を行い、自己紹介をする。 |
|     | 午後  | 阿蘇の水場あるき 農家との対面式                  | 農家と一緒に、夕食作りを行う<br>阿蘇の暮らしや農業について話し合う                                             |
|     | 宿泊  | 農家民泊（約25軒の農家に分泊）                  |                                                                                 |
| 4日目 | 午前  |                                   | 阿蘇のもう一つの特徴である畜産や酪農を体験する企画<br>牧野の方の協力も得て実施<br>農家と一緒に、お別れ会の夕食作りを行う                |
|     | 午後  | あか牛またはホルスタイン牛とのふれあいとお世話体験         | 農家と一緒に、夕食作りを行う<br>今までの体験内容について、農家を交えて話し合う                                       |
|     | 宿泊  | 農家民泊（約25軒の農家に分泊）                  | 各受入農家の田んぼや畑の手入れや家畜のお世話などのお手伝いをしていただく                                            |
| 5日目 | 午前  | お世話になった農家での農作業                    | 各受入農家で記念撮影、体験の記録まとめ                                                             |
|     | 午後  | 離村式                               | お別れ挨拶、お礼状の約束                                                                    |
|     | 宿泊  |                                   |                                                                                 |

## 熊本県天草市 御所浦アイランドツーリズム推進協議会

<http://www.goshoura.net/>

### 問合せ先

窓口名：御所浦アイランドツーリズム推進協議会

住所：熊本県天草市御所浦町牧島 219-2

TEL：0969-67-1080 FAX：0969-67-1080

E-mail：m-h1954@theia.ocn.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：福岡市

集合場所：御所浦島開発総合センター

車の場合：180分

鉄道の場合：90分



## 受入概要

これまでに、修学旅行等の受入に関わった島民の感想は、「都会から来た子供達が感動したり、喜んだりしてくれる。」それが楽しみだという。子供の成長に於いて、知識を貯えるために誰かに教わる受け身の学習だけでなく、実体験の中で自分自身が感じ、気づくような学習も必要である。しかし、その体験において重要なことは、お互いに楽しいことだと思う。そのような楽修（がくしゅう）を目指して取り組んでいる。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

不知火海（内海）に浮かぶ3つの有人島を含む18の島からなる離島の町である。その為に、海上交通が発達し、本渡・三角・八代等の定期航路で結ばれている。特に不定期航路事業の海上タクシーは、約30業者あり、風を切るスピード感で爽快な気分になる。

内界であるために、台風以外で欠航することはほとんどない。

島の基幹産業は漁業ですが、急傾斜地を利用した柑橘類の収穫にも適している。

日本地質百選に認定されているように、化石の島として有名である。特に中生代白亜紀後期と新生代古第三紀の地層から成り、化石の量や種類では日本有数の化石産地である。



天草市御所浦地域

### 歴史・文化的な特色

島民の気質としての特徴は、よそ者（来島者）に対して、心からおもてなしをすることである。そんな人達が一番大切な島の資源である。

御所浦島は有人3島の中で一番大きな島である。地質的に歴史が古く、白亜紀の地層からたくさんの貝の化石や、稀に草食恐竜の骨の化石が産出される。平成9年には国内最大級の肉食恐竜の歯の化石も発見された。

牧島は源平落人伝説にまつわる地名が数多く残り、「義経の船隠し」などが、今もなお語り継がれている。島名は、天草5人衆のひとり栖本氏の牧場があったことにちなむといわれている。

横浦島は横浦島の漁家では豊漁、安全祈願のために、多くの家で門口や軒先にえべっさん（恵比寿様）が祀られている。

### 農林水産業の特色

御所浦は古くから漁業の町で、現在も多くの島民が漁業を生業として生計を立てている。ちりめん漁やとんとこ漁（追い込み漁）、定置網漁などが行われ、島のまわりには養殖イケスが浮かび、鯛やブリ、トラフグ等の養殖漁業も盛んである。また、山間部や沿岸の斜面では温暖な気候を利用し、甘夏みかんやデコポン等の柑橘類の栽培も行われている。

本市において農林水産業は基幹産業である。しかし就業者の高齢化や後継者不足などによる衰退が顕著に表れている。そこで、本市においては「安心・安全」な農林水産物づくりを推進するための基盤整備を進めるとともに、地域の特性を活かし、環境保全に配慮した魅力ある農林水産業の振興を図っている。

天草市の主な農林水産物：デコポン、晩柑、ポンカン、天草黒牛、車えび、トラフグ、アンコウ、ウニなど。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民宿     | 農林漁家以外の民宿  | ホテル・旅館 | 公設の宿泊施設    |
|----------|------------|------------|--------|------------|
| 軒数       | 20         | 10         | 1      | 1          |
| 最大宿泊可能人数 | 100        | 100        | 20     | 50         |
| 料金       | 5500-6500円 | 7350-9000円 | 6500円  | 1575-2625円 |

## おすすめ体験学習プログラム

### 化石発掘体験（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

白亜紀資料館から化石採集場まで徒歩で5分。学芸員の指導の元化石発掘を体験できます。主に、貝の化石がたくさん採れますが、貴重な恐竜に化石も発見されている。（ハンマーや資料は資料館で貸し出している。）

### 伝馬船の櫓漕ぎ体験（所要時間 30 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

通年

【内容】

昭和30年代までは、島のどこでもみることができた小さな「伝馬舟」。島の生活にはなくてはならない舟であり、当時の子供達の遊び道具でもあった。自分の力で舟が進む櫓漕ぎにの技術を習得する。

### 地引き網体験（所要時間 40 分・漁業体験）

【期間】

3月上旬～11月下旬まで

【内容】

かつて島の主要な漁法であったのが地引き網である。無人島黒島で地元有志の方達の協力で復活・体験する。仲間と力を合わせて捕った魚で海鮮バーベキューも出来る。

### とんとこ漁体験（所要時間 90 分・漁業体験）

【期間】

通年

備考：休漁日は毎月第2土曜日と旧暦の1日と16日

【内容】

島の伝統漁法で熟練の漁師さんから漁の厳しさや楽しさを、肌で感じることが出来る。捕った魚はさばいて食べることも出来る。



地引き網体験

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | ○                 | ○         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 島の生活まるかじり                                                                               | 実施時期 | 7月中旬～11月下旬まで |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| ねらい  | 児童が、天草市御所浦地域の特色ある自然・農林漁業を体感し、チャレンジするとともに、農林漁家泊で家族的な異世代交流を行う事で、状況に応じた行動や規律・協調性を学ぶことができる。 |      |              |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                        | 学習内容                                                   |
|-----|-----|-------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  |                               |                                                        |
|     | 午後  | 入島式・対面式                       | 挨拶・自己紹介の後、受入先との対面式<br>民泊ごとに分かれてそれぞれ島の散策                |
|     | 宿泊  | 農林漁家体験民宿                      | 共同での夕食調理体験後、民宿先で明日のフリープランの打合せを行う                       |
| 2日目 | 午前  | 農林漁家の生活体験（フリープラン）             | 前日の打合せをもとに民泊ごとに農林漁家体験を実施する。<br>（民宿周辺の海辺の散策及び近所への挨拶回り等） |
|     | 午後  | 農林漁家の生活体験（フリープラン）、イルカ見学や伝馬船体験 | 体験民宿の手伝い<br>インストラクターの指導のもと、イルカ見学・伝馬船体験を行う              |
|     | 宿泊  | 農林漁家体験民宿                      | 夕食後、今日の感想を語り合う                                         |
| 3日目 | 午前  | 化石発掘体験                        | 資料館見学と化石発掘体験<br>恐竜の時代から地球の歴史について学ぶ                     |
|     | 午後  | 化石レプリカ作り                      | アンモナイトのレプリカ作り                                          |
|     | 宿泊  | 農林漁家体験民宿                      | 農林漁家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食会                                  |
| 4日目 | 午前  | 漁業体験                          | とんとこ漁か船釣り体験のどちらか選択し、それぞれで昼食の食材調達を行う                    |
|     | 午後  | 南小交流センターに移動                   | バーベキューの準備の後、バーベキューを行い地域住民との交流を図る                       |
|     | 宿泊  | 南小交流センター                      | 合同で宿泊し、これまでの体験や宿泊生活について意見交換会                           |
| 5日目 | 午前  | フリープラン                        | 挨拶・児童からの感謝の言葉・民泊先からのお礼の言葉                              |
|     | 午後  | 学校まで移動                        |                                                        |

## 大分県佐伯市 佐伯ツーリズム推進協議会

<http://www.kyushu1-saiki.com/>

### 問合せ先

窓口名：佐伯市観光協会  
住所：大分県佐伯市中村南町 1-1  
TEL：0972-23-1101 FAX：0972-23-1146  
E-mail：stacc@saiki.tv

### アクセス

最寄りの都市：大分市  
集合場所：大分県マリナルカルチャーセンター  
車の場合：60分  
鉄道の場合：135分



## 受入概要

佐伯市には大分県を代表する 400 名が宿泊できる大型研修施設である大分県マリナルカルチャーセンターがある。佐伯市での農村漁村宿泊体験では、1 泊目を大分県マリナルカルチャーセンターで受入れ、オリエンテーションとブルーツーリズムの体験ができる「あまべ渡世大学」を受講していただく。2、3 泊目は近隣の農山村で民泊とその時期の体験を、最終日の 4 泊目はまたマリナルカルチャーセンターで離村式を行う。体験の方針としては、一次産業の体験と、佐伯市のもつ雄大な自然の中の海・川遊びや山遊びなどをとおして、学習する機会を設けるように考えている。

マリナルカルチャーセンター近隣では、ウニ割り体験やヒオウギ貝のトーチづくり、真珠の核入れ体験などを通年通して受講できる。蒲江浦の沖合に浮かぶ屋形島や深島では、スキューバダイビングやカヌー、カッターなどの体験もできる。近隣の農山村では、稲作体験や栗拾い、そば打ち体験、また清流番匠川では、川遊びやカヌー体験などが楽しめる。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

平成 17 年 3 月に、9 市町村が合併して誕生した佐伯市は、大分県の県南に位置しており、東部は西日本有数の好漁場である豊後水道に面し、風光明媚なリアス式の海岸線は約 270 km にも及び、西部～南部は、祖母傾国定公園の山岳景観を形成している。

国内屈指のリアス式海岸であるため、沿岸地域には至る所に絶好の釣りスポットが点在しており、船釣り、磯釣り、防波堤づくりなどが手軽に楽しめる。また日本の渚 100 選の元猿海岸や、白砂青松 100 選の波当津海岸、快水浴場 100 選の瀬会快水浴場など多くの海水浴場がある。

山間部に目を向けると、日本百名山の祖母山を主峰とする祖母・傾山系の山々や、九州屈指の清流番匠川では、トレッキングやリバーカヤックなどのアウトドアスポーツを楽しめる。

### 歴史・文化的な特色

佐伯市は、真珠湾攻撃の最終演習地、そして機動部隊の出撃地の一つでもある。平和について考える施設として建設された「平和記念館やわらぎ」には、戦争体験者の証言や遺品を展示している。また明治の文豪・国木田独歩も鶴谷学館教師として赴任し、1 年足らずでしたが滞在していた。後に「春の鳥」「源叔父」「鹿狩」「忘れぬ人々」など、佐伯を舞台にした作品を残しており、彼が好んで散策した城山の頂には、「独歩碑」が建立されている。そして歴史と文学の通りには、独歩が寄寓していた坂本邸を修復し「国木田独歩館」を建立、通り沿いには矢野龍渓生家跡や茶室 汲心亭も立ち並び、今でも昔の面影を残している。その他にも 360 年の歴史をもつ県指定無形文化財でもある「千束楽」や、極彩色の旗やのぼりを押し立てた双胴の大漁船に乗って大海原へと漕ぎ出す、1200 年の歴史をもつ「五丁の市 ジョーヤラ」、佐伯市蒲江地区の歴代の漁撈用具約 1400 点を展示している「蒲江海の資料館」や 100 年以上も豊後水道の海の安全を見守っている「水の子島灯台」など、他にも合併した市町村には神楽など多くの文化的資源が残され、継承されている。

### 農林水産業の特色

九州一広い面積を有する佐伯市は、270 km におよぶリアス式海岸を有しており、豊後水道の豊かな自然に恵まれた魚介類の宝庫であり、大分県における水揚げの半分は佐伯の漁港からとなっている。又豊かな番匠川水系の自然に恵まれた農林産物においても畜産や稲作を中心に多くの作物が生産されており、まさに一次産業と連携した食観光を中心とした取組みを行っている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民宿  | 公設の宿泊施設 |
|----------|---------|---------|
| 軒数       | 20      | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 150     | 400     |
| 料金       | 6500 円～ | 1560 円～ |

## おすすめ体験学習プログラム

### 稲作体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

季節に合わせて稲作作業の体験を行う。（6月・田植え、7～8月・草取り、10月・稲刈りと掛け干し、11月・麦の種蒔、2月・麦踏、）

### 川辺での飯盒炊飯とバーベキュー（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

7月中旬～8月下旬まで

【内容】

清流番匠川の川面で、班毎に行動して、自分たちの食べるご飯を飯盒で炊き、おかずとなる鮎の塩焼きを体験して、自然に囲まれた中で、自然の恵みをおなか一杯に味わう。

### カヌー体験（所要時間 120 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

7月中旬～8月下旬まで

【内容】

清流番匠川でのカヌー（シーカヤック）を体験。

### まあ姉の伊勢えび捌き方講座（所要時間 90 分・漁業体験）

【期間】

—

【内容】

伊勢えびを簡単に捌く方法を「まあ姉」が伝授する体験講座。捌いた伊勢エビの昼食（ごはん・味噌汁付き）付き。

### 鍾乳洞探検（所要時間 40 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

国指定の特別天然記念物である小半鍾乳洞（おながらしょうにゅうどう）を探検する。

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 佐伯の夏休み満喫プラン                                                                                    | 実施時期 | 7月中旬～8月下旬まで |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|
| ねらい  | 児童が蒲江地域の特色である海の生活を体感し、チャレンジするとともに、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける生きる力を培うこと。 |      |             |

| 日    | 時間帯 | プログラム名                 | 学習内容                                                                                       |
|------|-----|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日目 | 午前  | 入村式・オリエンテーション          | 入村式と5日間のプログラム説明。グループづくり等。保健所の職員に手荒い方法や食中毒予防の心構えを聞く。海岸にあるゴミを拾って環境学習、きれいな貝殻や石を拾って後日の記念品に利用する |
|      | 午後  | 衛生のお話、海岸散策（清掃を兼ねる）     | ヒオウギ貝を捌く（身は夕食の材料に、貝殻は後日記念品作りに使う）、その他魚を捌いたり夕食準備をする                                          |
| 2 日目 | 宿泊  | 大分県マリンカルチャーセンター        |                                                                                            |
|      | 午前  | 漁業資料館見学とマリンカルチャーセンター見学 | 漁業の歴史を知る。タッチプールで魚の種類を知る。                                                                   |
| 3 日目 | 午後  | 魚釣り                    | 蒲江の漁師の生活を知る。魚釣りをしながら、民宿の人と話をし交流する。                                                         |
|      | 宿泊  | 漁家民宿                   | 釣った魚を使って夕食を作る（釣れないときの用意はしておく）                                                              |
| 4 日目 | 午前  | ブリの餌やり体験とアツメシ作り        | 養殖漁業について知る。実際に魚を捌いて、昼食をつくる。                                                                |
|      | 午後  | 真珠加工体験                 | 個々がアコヤガイから真珠をとりだす自分で取った真珠を使ってキーホルダー等を作る。                                                   |
| 5 日目 | 宿泊  | 漁家民宿                   | 家族と共同調理                                                                                    |
|      | 午前  | おもいで作り                 | 初日に集めた石や貝殻を利用して蒲江のおもいで作りを行う。絵手紙等で家族や知人に手紙を書く。                                              |
| 5 日目 | 午後  | 海水浴                    | 海とプールの違いがわかる。                                                                              |
|      | 宿泊  | 大分県マリンカルチャーセンター        |                                                                                            |
| 5 日目 | 午前  | お土産作り（すり身、クジャク、すり身いなり） | 佐伯の文化や郷土料理を知る。すり身やすり身いなりを作る。昼食はすり身いなりを食べる                                                  |
|      | 午後  | 離村式                    | 関係者がそろって閉村式。児童の代表が感想を述べる。                                                                  |

## 大分県臼杵市 臼杵市子ども滞在受入協議会

### 問合せ先

窓口名：臼杵市ほんまもんの里農業推進センター  
住所：大分県臼杵市野津町大字原 333 番地  
TEL：0974-32-7988 FAX：0974-32-7955  
E-mail：s-kazuhi@city.usuki.oita.jp

### アクセス

最寄りの都市：大分市  
集合場所：臼杵市ほんまもんの里農業推進センター  
車の場合：60分  
鉄道の場合：75分



### 受入概要

子どもたちとの心の交流を深めることに重点をおき、受け入れをしていく。  
臼杵市ほんまもんの里農業推進センターと連携して、全体の受け入れや農業体験、加工体験を行う。また、センターの竈場や五右衛門風呂など少し昔の農村体験もでき、農村文化の継承、更には自然とのふれあいを通じての教育ができる。教育旅行の受入の体制整備を行い、地域ぐるみで農村体験を通じた心の交流を図っていく。受け入れの基本計画を策定し、吉四六さん村GT研究会の充実、学校の誘致・調査活動を行っている。

### 受け入れ地域の特徴

#### 自然・地理的な特色

臼杵市は、大分県の東南部に位置し、豊予海峡方面へ楕円状に細長く伸びた総面積291.02km<sup>2</sup>の地域である。東は豊後水道に面した臼杵湾に臨み、北西部は大分市、豊後大野市に接し、南西部は鎮南山、姫岳、冠岳、石峠山など比較的険しい山稜が津久見市、佐伯市と境を接している。

気象は瀬戸内型気候区と南海気候区の影響により比較的温暖で、海岸部では無霜地帯が多い。年間降雨量も1,500～2,000mmで多く、比較的豊富な水量が確保でき自然的条件は恵まれている。

#### 歴史・文化的な特色

かつては南蛮貿易港として栄え、経済・交通の要衝の城下町であつたため、今なお市内の至るところに数多くの神社仏閣又は商家、武家屋敷等が点在している。

#### 農林水産業の特色

野津地域の畑地帯、臼杵地区の扇状に開けた臼杵平野を中心に、稲作・野菜・工芸作物・果樹・畜産等多種にわたり農業経営がされている。また、71%を占める山林では椎茸や筍の生産がされ、豊後水道に面した豊富な漁場を有している。



### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     |
|----------|------------|
| 軒数       | 11         |
| 最大宿泊可能人数 | 44         |
| 料金       | 4500-6000円 |

## おすすめ体験学習プログラム

### 筍山で筍掘り（所要時間 60 分・林業体験）

【期間】

4月上旬～4月下旬まで

【内容】

筍山で鍬で筍ほりの体験。

### 山野で山菜（ワラビ、フキ、ツワ）狩り（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

3月～4月まで

【内容】

山野を歩いて、ワラビとフキを採ります。

### 川ガニ獲り体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

9月～11月まで

【内容】

前日に仕掛けたわなにかかった川ガニを引き上げ、ゆでて食べる。

### カブト虫・クワガタ捕り（所要時間 120 分・動物・昆虫体験）

【期間】

7月～8月まで

【内容】

クヌギ山を歩いて、カブト虫やクワガタ虫を探す。

### だんご汁づくり（所要時間 90 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

大分名物のだんご汁を、自粉を作っただんごで作って食す。

### ごはんの電抱き体験（所要時間 90 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

郷土料理の紹介や稲作の説明などを実施しながら、かまどに火を熾して、ごはんを炊きます。できたご飯はおにぎりにして食べる。

### 石垣もちづくり（所要時間 90 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

野津地区の特産のサツマイモを使った石垣もちづくりを行う。



だんご汁づくり

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 夏・のつんむら0円生活                                                                                        | 実施時期 | 7月上旬～8月下旬まで |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|
| ねらい  | 野津町の農村で自然（山・農地）を体感し、農村で農家と衣食住を共にすることで異世代交流や集団活動や自然の流れに合わせた生活を学ぶ。自然の中で、自然や環境を考えながら生きていくことの大切さを培うこと。 |      |             |

| 日   | 時間帯 | プログラム名              | 学習内容                                                         |
|-----|-----|---------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  |                     |                                                              |
|     | 午後  | 入村式～オリエンテーリング～夕食づくり | あいさつ・自己紹介、地域の説明、センターの説明、都市農村交流について、農泊とは<br>食材確保（収穫・買出し）～調理体験 |
| 2日目 | 宿泊  | 農家民泊                | 農家との対話（食育）                                                   |
|     | 午前  | 農村体験～昼食づくり          | 各農泊家庭のメニュー<br>食材確保（収穫・買出し）～調理体験                              |
|     | 午後  | 吉四六さん話～夕食づくり        | インストラクターによる「吉四六ばなし」<br>食材確保（収穫・買出し）～調理体験                     |
| 3日目 | 宿泊  | 農家民泊                | 農家との対話（食育）、二日間の体験を絵に描く                                       |
|     | 午前  | 市有林間伐研修             | 間伐体験により、山・環境について学ぶ<br>食材確保（収穫・買出し）～調理体験                      |
|     | 午後  | 町内散策～調理教室           | 町内の寺、酒造会社を散策・見学<br>電でご飯とだんご汁の調理体験                            |
| 4日目 | 宿泊  | ほんまもんの里             | レクレーション（雑音のない中、夜空を見ながらで語らう）                                  |
|     | 午前  | にら収穫・出荷調整～農業研修（座学）  | にらの収穫と出荷調整作業、所得計算<br>地産地消、有機農業等について～地産地消弁当                   |
|     | 午後  | 社会見学～夕食準備           | 町内の名所の見学（金明孟宗竹等）<br>食材確保（収穫・買出し）～調理体験                        |
| 5日目 | 宿泊  | 農家民泊                | お別れ会 個人ごとに感想文作成・発表                                           |
|     | 午前  | 清掃活動～離村式            | 農泊家庭、周辺の清掃活動<br>グループごとに感想文作成・発表                              |

## 大分県竹田市 竹田市グリーンツーリズム推進協議会

<http://www.taketan.jp/>

### 問合せ先

窓口名：竹田市  
住所：大分県竹田市大字会々1650 番地  
TEL：0974-63-4805 FAX：0974-63-3990  
E-mail：info@taketan.jp

### アクセス

最寄りの都市：大分市  
集合場所：竹田温泉花水月 駐車場  
車の場合：75分  
鉄道の場合：90分



## 受入概要

竹田市は、大分県の南西部にあり、北にくじゅう連山、南に阿蘇外輪山、祖母山を望む位置にある。湧水の町と知られ、週末は名水100選の水を求めて遠くからの水汲み客で賑わっている。

竹田市の豊かな地域資源を活かした“学習効果のあるプログラム”と“安全・安心な受入”を提供することを方針として取り組むこととし、「農家の暮らし体験」をコンセプトに、時間に沿った一律のプログラムを体験するのではなく、農家の一員となれる少数単位で受け入れ、食事作りや農作業体験を行い、ともに食卓を囲んで、農業や農村の生活を学習してもらう。

また、画聖 田能村竹田、楽聖 瀧廉太郎や佐藤義美を輩出しているため、歴史や文化を学ぶ体制が充実しており、体験プログラムの組み合わせや合同学習も可能である。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

竹田市は大分県の南西部に位置し、南は祖母・傾山系を挟んで宮崎県に、西は阿蘇外輪山の東斜面を境に熊本県に接している。標高250から700mの中山間地域である。人口は、26,534人、総面積477.7平方キロメートル（平成17年度国勢調査）で、中心市街地は大分市から南西約55km、熊本市から東北東約73kmの場所に位置しています。年平均気温は14.4℃、年間降水量は1778mmとなっている。

竹田市は、くじゅう連山、阿蘇外輪山、祖母山麓など1000m級の雄大な山岳に囲まれ、阿蘇くじゅう国立公園に位置する久住高原を有する緑豊かな地域である。また、河川では大野川の源流を有しており、一日に数万トンの湧出量ともいわれる湧水群を誇る水と緑があふれる自然豊かな地域である。山々から湧き出でる豊かな名水は、全国的にも知られ、下流域の多くの人々の生活を支えている。

### 歴史・文化的な特色

竹田市は、武家屋敷通りなどの古い面影を多く残し、また、画聖 田能村竹田、楽聖 瀧廉太郎や佐藤義美を輩出するなど歴史と文化が薫る落ち着いた雰囲気であることから、九州の小京都とも呼ばれている。史跡岡城跡、旧竹田荘、キリシタン墓碑や石仏などの歴史的文化遺産をはじめ、国指定重要文化財である白水ダムや民族文化財としての伝統芸能の神楽や年中行事に関する風俗習慣も各地域に残され受け継がれている。

### 農林水産業の特色

夏季冷涼な気候条件を生かした夏秋野菜や花き栽培、広大な草地資源を背景とした畜産が盛んな地域である。また、大分県の特産として知られるカボスの代表的な産地であり、稲作ではカンントリーエレベーターを中心に良質米生産が行われている。竹田市の農業産出額（平成17年）は、県内トップであり、その割合は県全体の13パーセントを占めている。その構成は畜産46%、園芸32%、米20%となっており、特に夏秋トマトは県全体の50%を占めている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 公設の宿泊施設    |
|----------|------------|------------|
| 軒数       | 14         | 2          |
| 最大宿泊可能人数 | 70         | 100        |
| 料金       | 6000-7500円 | 2200-5500円 |

## おすすめ体験学習プログラム

### 農作業体験をしよう（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

農家が最大 6 人程度を受け入れて、個々の農家で、季節によって体験出来る農作業を経験する。田植え、稲刈り、野菜収穫、果樹収穫など。

### 原生林と滝を見に行こう（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

日本百名山である「祖母山」の貴重な原生林の中を歩き、美しい滝と清流を見ることが出来る。また、希望に応じて、アブラメ、ハエなどの溪流釣りも出来る。

### 穴森神社伝説を学ぼう（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

神原の穴森神社に行き、地元のガイドから大蛇伝説について学ぶ。

### 椎茸収穫体験（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

通年

【内容】

竹田市は椎茸の産地として有名であるが、特に品質の高い椎茸を栽培している農家で椎茸狩りが出来る。

### 餅つき体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

10 月～12 月まで

【内容】

石臼と杵で餅つきをする。

### 乗馬体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

久住高原で乗馬をする。

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 農村生活と野外体験                                                                                                        | 実施時期 | 5 月上旬 ～ 10 月下旬まで |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------------|
| ねらい  | 児童が、松前町の特色ある自然・農漁業を体感し、チャレンジするとともに、農漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動している“生きる力”を培うこと。 |      |                  |

| 日    | 時間帯  | プログラム名           | 学習内容                                                                                            |
|------|------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日目 | 午前   |                  |                                                                                                 |
|      | 午後   | 歓迎式 各受け入れ農家プログラム | 受け入れ家庭と竹田中央公民館で対面式及びオリエンテーション<br>受け入れ農家ごとの農作業体験、農村体験、食農体験<br>受け入れ家庭と夕食後、農作業体験した感想や農村の暮らしについて語る。 |
|      | 宿泊   | 農林漁家民宿           |                                                                                                 |
| 2 日目 | 午前   | 各受け入れ農家プログラム     | 受け入れ農家ごとの農作業体験、農村体験、食農体験                                                                        |
|      | 午後   | 各受け入れ農家プログラム     | 受け入れ農家ごとの農作業体験、農村体験、食農体験                                                                        |
|      | 宿泊   | 農林漁家民宿           | 受け入れ家庭と夕食後、農作業体験の感想について、語る。                                                                     |
| 3 日目 | 午前   | 散策 林業体験          | 片付け終了後、受け入れ農家から神原の緒環「おだまき」に集合し、お別れ会をする。祖母山の原生林や清流、滝を見ながら散策する。<br>椎茸収穫体験し、椎茸を炭火焼きにして昼食時に一緒に食べる。  |
|      | 午後   | 工芸体験             | 緒環（おだまき）で竹炭のペンダント作りや押し花作り等を体験。<br>※緒環（おだまき）運営委員会の体験プログラムを選択可                                    |
|      | 宿泊   | 公共宿泊施設「あ祖母学舎」    |                                                                                                 |
|      | 4 日目 | 午前               | 郷土おやつ作り体験                                                                                       |
| 5 日目 | 午後   | 神原歴史巡り散策         | あ祖母学舎から神原の穴森神社までバスで向かう。到着したら地元のガイドから穴森神社伝説を学ぶ。その後、周辺を散策。                                        |
|      | 宿泊   | 公共宿泊施設「あ祖母学舎」    | グループごとに分かれて、発表会                                                                                 |
|      | 午前   | 片付けとお別れ会         | 片付け・清掃活動<br>竹田文化会館で児童による受入関係者に向けたお別れ会                                                           |
|      | 午後   |                  |                                                                                                 |

<http://www.city.bungotakada.oita.jp/>**問合せ先**

窓口名：豊後高田市

住所：大分県豊後高田市御玉豊後高田市御玉 114

TEL：0978-22-3100 FAX：0978-22-3795

E-mail：yoane@city.bungotakada.oita.jp

**アクセス**

最寄りの都市：大分市

集合場所：豊後高田市健康交流センター花いろ

車の場合：80分

鉄道の場合：60分



豊後高田市

大分県

**受入概要**

本市としては、海と農山村に囲まれた地域性を活かして、1週間で農山漁村の生活体験ができる受入体制作りをしている。また、今までに受け入れを行ってきた中学校の体験学習をベースに小学校単位での受け入れにあたっては、児童の体力や気力、やる気を勘案するとともに単なる農林水産業体験ではなく、都会では味わえない満足感や達成感あるいはいじめや不登校に悩む児童の「心のせんたく」ができるよう新しいプログラムの構築を現在検討しています。受け入れ農家は20代から70代と幅も広く、児童の実情に応じ様々な受け入れが可能である。

**受け入れ地域の特色****自然・地理的な特色**

豊後高田市は、大分県の北部周防灘に突出した国東半島の西側に位置し、海岸部は宇佐平野から続く平坦地並びに江戸時代後期の旧干拓地及び国営干拓地となっており、中山間地帯は国東半島の中央両子山より放射状に山地が走り、この谷間に耕地や宅地が存在している。市の中央部を二級河川桂川が流れ周防灘に注ぎ、この河口部に市街地が形成され交通は海岸に沿って国道213号線が走り、国道10号線を経由して生活圏である大分、北九州に通じ、また、JR日豊線宇佐駅までは約4kmの距離となっている。

本市は、海岸部から山間部にまで地形が広がり、三の宮の景や並石岩峰、猪群山、夷谷等の自然景観や国東六郷温泉に代表されるように市内6箇所に天然温泉を有する地域となっています。市の特産品は、白ネギであり作付け面積は350haを超える西日本有数の産地となっている。また、白ネギ以外でも水稲を始め肥育牛、ぶどうやみかん等の果樹、スイートピー、小菊等の花卉類等、多種に渡るとともに漁業においては、「岬ガザミ」の名称でワタリガニをブランド化し関東方面を中心に出荷されている。

**歴史・文化的な特色**

本市には、国宝富貴寺を始め真木大堂、熊野磨崖仏、天然寺、長安寺等六郷満山ゆかりの歴史的遺産が広範囲に数多く点在している。また、里山においては、中世の荘園の姿を今にとどめる田染荘が存在し、鎌倉時代の風景を今に受け継いでいる。

**農林水産業の特色**

【農業】海岸部の干拓地と背後地の中山間地域に大きく二分され、干拓地では白ネギを中心とした大規模農業が展開しており、特に白ネギについては、作付面積360haで九州一番の作付面積となっている。また、背後地においては、水田地帯に水稲を始め小麦、大豆、そば等が作付けされており、特にそばについては、作付面積113haで九州一番の作付面積となっている。

【林業】本市の総面積20,664haのうち森林面積は11,678haで、総面積の56.5%を占めている。また、林産物の椎茸栽培も盛んであり、近年はハウス施設で行う菌床栽培も盛んである。

【漁業】底引き網・刺し網・かご網といった漁業が盛んであり、特にワタリガニについては「岬ガザミ」というネーミングで、地元の漁協を中心として徹底した品質管理によるブランド化に努めている。

**宿泊施設・農林漁家民泊の概要**

|          | 農林漁家民泊     | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|---------|
| 軒数       | 20         | 3       |
| 最大宿泊可能人数 | 100        | 424     |
| 料金       | 5500-6500円 | 1360円～  |

## おすすめ体験学習プログラム

### 稲収穫体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

9月下旬～10月中旬まで

【内容】

コンバインに乗って稲刈りと、鎌を持って手刈りによる稲刈り体験。はざ掛け、脱穀までの体験。

### 地引網体験（所要時間 120 分・漁業体験）

【期間】

4月上旬～11月下旬まで

【内容】

小船に網を積み込み、砂浜の沖に編みえお入れてみんなで協力して引き上げます。自然と一体になれる体験。

### 魚のさばき方教室（所要時間 60 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

獲れたての魚の鱗をとって、3枚に捌いて漁師料理の醍醐味を体験。



魚のさばき方教室

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | ○                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 青い海とみどりに囲まれた心の交流1                                                                                                                                                                                                 | 実施時期 | 7月上旬～10月下旬まで |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| ねらい  | ①農林漁家等の児童以外の世代交流を通して、農業や食料の大切さや農村地域の果たす役割及び課題について体感する。<br>②人とふれあうことによる魅力や他人を尊重する心に気づける機会を設けることができる。<br>③普段と異なる生活空間に触れることで、児童自ら判断する機会を設けることができ、自立心や知的好奇心を高めることができる。<br>④児童同士が協同で自然体験を行うことで、団体行動による課題解決を経験することができる。 |      |              |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                 | 学習内容                                                                                                        |
|-----|-----|------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 現地までの移動                |                                                                                                             |
|     | 午後  | 入村式                    | 受入関係者による受入式とオリエンテーション<br>海と山に囲まれた風光明媚な自然をスケッチしたあと、共同作業で火おこしと野外炊飯で調理体験                                       |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設「香々地少年自然の家」      | 集団生活を通じて、規律・協同を養い、規則正しい生活を過ごす                                                                               |
| 2日目 | 午前  | かご網漁体験と魚のさばき方教室（全児童参加） | 水産資源に負担の少ない漁法の解説と全児童でかご網漁体験（天候不良の場合、屋内メニューを提供）<br>魚のさばき方の実演と全児童で魚のさばき方を体験                                   |
|     | 午後  | 地引網体験と磯に棲む生物観察（全児童参加）  | 古来よりある漁法の地引網の解説と全児童で力を合わせて地引網を体験（天候不良の場合、屋内メニューを提供）<br>全児童で磯や砂浜に棲む生物観察をしてその生態等についての考察と解説（天候不良の場合、屋内メニューを提供） |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設「香々地少年自然の家」      | 集団生活を通じて、規律・協同を養い、規則正しい生活を過ごす                                                                               |
| 3日目 | 午前  | 各受入農家プログラム(班別活動)       | 対面式：各農林漁家宿泊先と対面し、自己紹介を行う<br>各受入農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むこととしている。                                |
|     | 午後  | 各受入農家プログラム(班別活動)       | 各受入農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むこととしている。                                                            |
|     | 宿泊  | 農林漁家民宿                 | 受入家庭と夕食を済ませた後、農村生活や地域性などについて語り合う                                                                            |
| 4日目 | 午前  | 各受入農家プログラム(班別活動)       | 各受入農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むこととしている                                                             |
|     | 午後  | 各受入農家プログラム(班別活動)       | 各受入農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むこととしている<br>農山漁村での生活体験をしてきた中で、感じたことなどを保護者宛に手紙にする                     |
|     | 宿泊  | 農林漁家民宿                 | 受入家庭と夕食を済ませた後、農山漁村の生活体験を通じて感じたことや不思議に思ったことなどについて語り合う。                                                       |
| 5日目 | 午前  | 各受入農家プログラム(班別活動) お別れ式  | 方付け・清掃活動<br>児童主催による受入関係者に向けたお別れ式(演奏会)                                                                       |
|     | 午後  | 離村式                    | 学校までの移動                                                                                                     |

## 大分県宇佐市 宇佐市ツーリズム推進協議会

<http://www3.coara.or.jp/~ajimu/>

### 問合せ先

窓口名：NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会

住所：大分県宇佐市安心院町下毛 1046 番地

TEL：0978-44-1158 FAX：0978-44-0353

E-mail：japan-sjimu-gt@basil.ocn.ne.jp

### アクセス

最寄りの都市：大分市

集合場所：宇佐市安心院支所

車の場合：60分

鉄道の場合：55分



## 受入概要

数時間単位に区切って一律のメニューに沿って体験をするのではなく、少人数ごとに農村のごく普通の民家に泊まり、受け入れ農家の家族の一員となって農作業や農村を体験し食卓を囲み話をする。また、漁業体験や平和学習のほか歴史・文化・自然に恵まれた地域柄を活かした体験が可能なので、学校の意向に合わせた体験プログラムの組み合わせや合同学習も可能となる。

## 受け入れ地域の特色

### 自然・地理的な特色

大分県の北部に位置し北は瀬戸内海、南は立石山等の山岳を境に近隣の市町村接しています。総面積439.12km<sup>2</sup>、南北約30km、東西約20km、標高差1kmで海岸部、平野部、山間部地域と多様な地域構成となっている。気候は瀬戸内気候に属し比較的温暖で少雨傾向である。稲作、麦作、果樹等農作物の栽培に適している。

周防灘に沿って延びる18kmの海岸線。日本の滝百選にも選ばれた東椎屋の滝高さ85m。滝を裏側から見ることで裏見の滝とも呼ばれる福貴野の滝高さ60m。日本の棚田百選に選ばれた両合棚田（院内町小平・滝貞）約4haの耕地が120枚の棚田で構成され美しい景観である。一枚の岩盤の上を清流が約2kmにわたり流れる岳切渓谷、夏にははだしで沢歩きが楽しめる。

### 歴史・文化的な特色

宇佐神宮をはじめとする神社、仏閣、古墳。宇佐、国東の歴史と文化を展示した歴史博物館や古墳群を含む宇佐風土記の丘。寺院の裏山に作られた地獄極楽。磨崖仏。土蔵や家の戸袋、壁などに漆喰で描かれた饅飴。院内地域にある74基の石橋。宇佐平野に残る宇佐海軍航空隊の名残、掩体壕10基平和の尊さを学ぶ。

### 農林水産業の特色

瀬戸内海に面した広大な干潟と遠浅な漁場では、底曳網漁、採貝、採藻、のり類養殖等が行われ、クルマエビ、ガザミの種苗の放流等が実施されている。また、淡水域では、鮎・鰻・スッポン・モクズガニの稚魚の放流を行っている。海沿いの地域では、特産のネギが栽培され、平野部では米・麦が中心で周囲の台地では、野菜の栽培が盛んにおこなわれている。市南部の中山間地域では、盆地気候の特性を活かし、ぶどう・ゆず団地が形成されている他、花卉栽培も行われている。さらに、山間地域においては椎茸栽培が盛んに行われている。



## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊 |
|----------|--------|
| 軒数       | 50     |
| 最大宿泊可能人数 | 250    |
| 料金       | 7200円  |

## おすすめ体験学習プログラム

### 農業を体験しよう（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

7月中旬～9月上旬まで

【内容】

それぞれの農家でできる農作業、一律ではありません。農家によって違います。野菜の植え付けであったり、除草作業、虫取り、肥培管理、収穫作業。またぶどう関連農家では土壌改良作業や、袋かけなど。畜産農家では、えさやりや畜舎の清掃作業など様々です。プログラムは受け入れ農家それぞれが組み立てる。

### 古式漁法石ひび(石干見)を体験してみよう(所要時間 120 分・漁業体験)

【期間】

5月上旬～11月上旬まで

【内容】

古式漁法体験・石ひび以外にも潮干狩りや漁業体験等のメニューがあり。

### 宇佐市を知ろう（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

宇佐市内の観光・歴史・自然体験をボランティアガイドが行う。

### 農村の暮しを体験してみよう（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

7月中旬～9月上旬まで

【内容】

それぞれの農家で、農村でできる遊び。たとえば、魚釣り、川遊び、裏山登山、山菜狩りなど。



#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ○               | ○                 | ○         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 第2のふるさと作り                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 実施時期 | 7月中旬～9月上旬まで |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------|
| ねらい  | それぞれの農家でいろいろな体験をすることにより、後の話し合い学習の場においてそれぞれ意見交換をしてひとつの農村を、クラスで作上げることができる。一律の体験をしないことによって、社会はそれぞれの役割を持って形成されていることを理解する。農作業という分野においてもいろいろな役割があることを理解する。また、農家の人たちによる話と自分たちの体験を組み合わせることにより物を生産、作り上げることがいかに大切なことかを学ぶ。農業とは、安全安心な農産物を生産し、経済効果だけを追及するものではなく、日本国土を守ることに巧まずして効果発揮していることに気がつくことでしょう。また、一律に体験する日を1日組んでいる。その効果は、平和学習については、戦争を知ることにより平和を考えるようになり、人の痛み・世界情勢に思いを馳せられるようになる。漁業体験については、共同活動による一体感の醸成と自然の中での漁獲体験が貴重な体験になることと自信を持ってお勧めできる。 |      |             |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                          | 学習内容                                                                 |
|-----|-----|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  |                                 |                                                                      |
|     | 午後  | 受け入れ式（全児童参加） 各受け入れ農家プログラム（班別行動） | 安心院支所敷地内の安心院中央公民館にて受け入れ式、オリエンテーション<br>共同での夕食料理体験                     |
| 2日目 | 宿泊  | 農家民泊                            | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。                                                |
|     | 午前  | 各受け入れ農家プログラム（班別行動）              | 各受け入れ農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むようにしています。                  |
|     | 午後  | 各受け入れ農家プログラム（班別行動）              | 各受け入れ農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むようにしています。                  |
| 3日目 | 宿泊  | 農家民泊                            | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。                                                |
|     | 午前  | 平和学習（全体行動）                      | 各受け入れ農家より安心院中央公民館へ集合し、バスに乗り平和学習。                                     |
|     | 午後  | 漁業体験（石ひび体験）（全体行動）               | 昼食後、漁業体験（石ひび等）終了後バスで安心院中央公民館まで送り、各家庭からお迎えに来てもらう。<br>民泊家庭に帰宅後、共同で夕食作り |
| 4日目 | 宿泊  | 農家民泊                            | 夕食後、家庭の方と一日の感想などを語り合う                                                |
|     | 午前  | 各受け入れ農家プログラム（班別行動）              | 各受け入れ農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むようにしています。                  |
|     | 午後  | 各受け入れ農家プログラム（班別行動）              | 各受け入れ農家プログラムには、農作業体験、農村体験、食農体験3つの体験を必ず組み込むようにしています。                  |
| 5日目 | 宿泊  | 農家民泊                            | 農泊家庭の方とお別れ会を兼ねて夕食会                                                   |
|     | 午前  | お別れ式（全児童参加） 各受け入れ農家プログラム（班別行動）  | 各受け入れ農家より安心院中央公民館へ集合し、午前10時頃お別れ式を開催する。                               |
|     | 午後  |                                 |                                                                      |

## 大分県国東市 国東市子ども農村民泊体験協議会



### 問合せ先

窓口名：くにみグリーンツーリズム研究会  
住所：大分県国東市国見町中3 4 5  
TEL：0978-82-1366 FAX：0978-82-1366  
E-mail：petitfarm-tanaka@wine.plala.or.jp

### アクセス

最寄りの都市：別府市  
集合場所：国東市国見町伊美 国東市国見総合支所  
車の場合：70分  
鉄道の場合：-

## 受入概要

「農家の生活丸ごと体験」をコンセプトに、時間を区切って一律のプログラムに沿った体験をするのではなく、農家の家族の一員となれる少数単位で受け入れ、食事作りから農作業や農村を体験し食卓と一緒に囲み話をする。また、六郷満山文化の歴史・文化、半島ならではの山あり海ありの自然に恵まれた地域柄を活かした体験が可能であり、施設として、市営の「弥生のムラ」や「総合運動公園」、県営「香々地青少年の家」が近場にあるので、学校の意向に合わせた体験プログラムの組み合わせや合同学習も可能である。

安全及び危機管理のレベルアップのため、20年度中に防火管理者、食品衛生管理者の資格講習や普通救命講習を受講している。インストラクター養成研修も積極的に参加しており、上級指導者の養成研修も21年度に計画している。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

本地域は、瀬戸内海に臨む大分県北部の国東半島にあり、西は周防灘、東は伊予灘、別府湾にそれぞれ面し、南西の陸地側は宇佐市、東は杵築市に接している。半島のほぼ中央にある両子山系から放射状にのびた尾根と、その間の深い谷や峰々からなり、火山特有の奇岩景勝に富む。また峡長な里をつなぐ多くの隧道があり独特の環境を形成している。

沿岸部は、リアス式海岸で屈折に富んだ美しい海岸景観を有し、県立自然公園に指定されている。半島中心部の両子山周辺は、遠く瀬戸内海を望むことができ、四季折々の自然の織り成す景勝の地として知られ、瀬戸内海国立公園に指定されている。

気候は、瀬戸内型気候に属し、年間平均気温は16℃前後で温暖であるが、降水量は少なく、沿岸部の年間降水量は1,500mm前後であり県内で最も少ない地域となっている。半島がゆえに、海、山、河川、溜池等があり多様な植生がある。海のもの山のものを一度に楽しめる環境である。

### 歴史・文化的な特色

歴史的には、古くから瀬戸内海ルートを中心に中央との結びつきが強く、奈良時代末頃より、宇佐神宮の勢力との関わりの中で、国東半島一帯に次々寺院が建立されていった。これらの寺院は、平安時代には、天台宗系山岳寺院として整備されるとともに、いわゆる六郷満山と呼ばれる独特な山岳仏教文化の繁栄をもたらした。今なお、国東塔などの文化財が多数残るとともに、修正鬼会、流鏝馬、お接待などの伝統行事が受け継がれている。

### 農林水産業の特色

国東市は、全体人口のおおむね30%が農家等である。耕地は約13%と狭く、その内水田が75%を占めており、主要な農産物は、水稲が最も多く、次いで麦類、大豆である。果樹類は、みかん類が最も多く、次にキウイ、栗、ブドウ、なし、その他と続く。畜産は激減しているが、乳用牛、肉用牛豚も飼育されている。野菜及び花卉は、イチゴ、メロン、小ネギ、バラ、トルコキキョウ、その他がある。また、全国のトップの位置である大分シイタケの主要産地のひとつでもある。漁業は、港が多く全体的に営まれており、国東ブランドとして太刀魚、たこが多く水揚げされている。車えび、ひらめの養殖も行われている。いずれにしろ半島という地形上、少量多品目の地域といえる。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     |
|----------|------------|
| 軒数       | 25         |
| 最大宿泊可能人数 | 100        |
| 料金       | 4000-5600円 |

## おすすめ体験学習プログラム

### 農業を体験しよう（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

それぞれの農家でできる農作業、一律ではないところが特徴である。農家によって違い、水田、畑、果樹園、椎茸管理などさまざまであり、耕起、畝立て、植え付け、草取り、虫取り、肥培管理、収穫、調整、出荷作業など。プログラムは受け入れ農家のその時期に応じた農作業をそれぞれが組み立てる。

### 六郷満山文化を学ぼう（所要時間 180 分・ふるさと体験）

【期間】

備考：雨天の場合は限定される

【内容】

国東市内の六郷満山文化の各種遺跡や寺院をめぐり、中世時代の国東半島の歴史を知る。室内でパワーポイント等による講座も可能。

### 弥生の暮らしを体験しよう（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

弥生時代の歴史を知り、古代の食事づくりを体験し昔のくらしを知ろう。「弥生のムラ」の施設を使った古代体験。



### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料留意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ○               | -                 | ○         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 農家の生活丸ごと体験その I                                                                                                                                                                                                             | 実施時期                        |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
|      |                                                                                                                                                                                                                            | 7月上旬～7月下旬まで<br>9月上旬～11月上旬まで |
| ねらい  | 「農家に泊まる」ということが最大の特徴であり、農家の家族として、食べる・働く・遊ぶなど農村の暮らしそのものを体験する。また「弥生のムラ」国東市歴史体験学習館では、古代の歴史と生活体験を行い現在の生活の豊かさ便利さを再認識してもらおう。これらの非日常的な体験の中で新たな発見をさせる。子供達には、家族の絆や役割、食の大切さ、豊かさの裏返しである環境問題などへの気づき、そして、思いやりや我慢すること、楽しさ、大切さなどを知ることができる。 |                             |

| 日    | 時間帯 | プログラム名          | 学習内容                                                                                                                                          |
|------|-----|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日目 | 午前  |                 |                                                                                                                                               |
|      | 午後  | 入村式 各受入農家のプログラム | オリエンテーション 対面式等<br>農泊中の生活について話し合う<br>受入農家毎のプログラムにより農作業体験・農村体験・農食体験を行う                                                                          |
| 2 日目 | 宿泊  | 農林漁家民泊          | 語らいの時間 今日のまとめほか農家のプログラム                                                                                                                       |
|      | 午前  | 各受入農家のプログラム     | 受入農家毎のプログラムにより農作業体験・農村体験・農食体験を行う                                                                                                              |
|      | 午後  | 各受入農家のプログラム     | 受入農家毎のプログラムにより農作業体験・農村体験・農食体験を行う                                                                                                              |
| 3 日目 | 宿泊  | 農林漁家民泊          | 語らいの時間 今日のまとめほか農家のプログラム                                                                                                                       |
|      | 午前  | 弥生のムラプログラム      | 受入れ農家からくみみんなんかんへ集合し、バスに乗り国東町小原の「弥生のムラ」国東市歴史体験学習館へ移動。弥生時代の郷土史講座を受講後、弥生時代の生活体験（古代粘土細工、勾玉づくり、火おこし機織り、食事づくり等のメニューから選ぶ）終了後バスでみんなんかんまで戻り、各受入れ農家が迎える |
| 4 日目 | 午後  | 弥生のムラプログラム      | 受入れ農家からくみみんなんかんへ集合し、バスに乗り国東町小原の「弥生のムラ」国東市歴史体験学習館へ移動。弥生時代の郷土史講座を受講後、弥生時代の生活体験（古代粘土細工、勾玉づくり、火おこし機織り、食事づくり等のメニューから選ぶ）終了後バスでみんなんかんまで戻り、各受入れ農家が迎える |
|      | 宿泊  | 農林漁家民泊          | 語らいの時間 今日のまとめほか農家のプログラム                                                                                                                       |
|      | 午前  | 国東半島の歴史を学ぶ      | 受入れ農家で一緒に弁当を作り合同で六郷満山文化財の見学を行い野外で弁当を食べる                                                                                                       |
| 5 日目 | 午後  | 各受入農家のプログラム     | 受入農家毎のプログラムにより農作業体験・農村体験・農食体験を行う<br>お別れ会の準備                                                                                                   |
|      | 宿泊  | 農林漁家民泊          | 語らいの時間 お別れ会                                                                                                                                   |
|      | 午前  | お別れ式            | 荷物の整頓及び部屋の掃除<br>みんなんかんに集合しお別れ式を行う                                                                                                             |
|      | 午後  |                 |                                                                                                                                               |

# 大分県日田市大山町、玖珠町、九重町 一般社団法人G-WEST (大分県西部地区教育旅行受入協議会)

<http://www.g-west.net>

## 問合せ先

窓口名：一般社団法人G-WEST  
(大分県西部地区教育旅行受入協議会)

住所：大分県玖珠郡九重町野上3207-2

TEL：090-4777-5429 FAX：0973-77-6356

E-mail：gwest.oita@gmail.com

## アクセス

最寄りの都市：大分市

集合場所：玖珠郡玖珠町帆足 「B G海洋センター」

車の場合：80分

鉄道の場合：120分



## 受入概要

大分県西部地域の日田玖珠地域のグリーンツーリズム研究会で構成する受入組織「G-WEST」は、すべてが農林業家であり、田畑や森林を活用した農林業体験ができる。

G-WESTの結成は、平成19年度ですが、玖珠九重地域の研究会では、平成10年頃には、東京都内の有名進学高校の九州方面修学旅行に際して「稲刈り」や「椎茸栽培」など各農家ごとの農林業体験で受け入れた実績がある。

「農林業体験」というより、むしろ「農林家体験」がふさわしく、作業を通じて農山村の生活や文化、暮らしそのものを実感できたり、空間を越えたタイムトリップが魅力に感じて頂けるのではないかと憶測している。

作業体験を通じながら、集団生活の善悪や友情形成、思いやりの心を感じて頂けるように、受入農家も真剣勝負で「おもてなし」に心がけている。きっと「思い出づくり」になる1週間になると確信している。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

玖珠九重地域は、都市高速・高速「太宰府」～高速「玖珠」を利用すれば福岡市中心部から2時間弱で訪問できる。また、日田市大山町も高速「日田」で下車、国道212号線で同じく2時間弱の便利な位置にある。

行楽シーズンや休祭日は、大分県西部地域（日田玖珠）を訪れる福岡県民の方々が多く最も身近な地域である。

くじゅう連山に囲まれた九重地域は、温泉に恵まれ高原観光が最も盛んです。新緑や紅葉名所が多く、季節を問わず久住登山や「夢の大吊り橋」など観光ポイントにも恵まれている。

玖珠地域は、万年山・切株山・大岩扇山など「メサ」と呼ばれる台形隆起型の山々が特徴で、「玖珠米」や高冷地野菜の産地です。特に恵まれた土壌と自然水で栽培する品種「ひとめぼれ」は、米の全国食味ランキングで西日本唯一の最高賞に輝いている。

日田市大山地域は、筑後川上流の恵まれた水源と盆地性の気象条件を活かした梅・スモモなど果樹栽培や内水面漁業が盛んで、加工特産品で有名である。

### 歴史・文化的な特色

玖珠九重地域は、古くから高原・山岳・温泉など柱とした生活文化が主体で、戦国時代の山城「角埋山城」など文化的遺産が残っている。

農林業を主体にした庶民文化が広がり、各地域に神社や祠が祭られており、四季を通じて集落や地域で催事が見られます。

日田市大山地域は、烏宿神社や天領日田に関わる歴史的文化、また近くの天瀬地域には「高塚愛宕地藏尊」があり、学業・家内安全・健康祈願など多くの参拝者が訪れている。

### 農林水産業の特色

九重地域は、温泉や登山など高原観光が盛んな地域で、キャベツ・トマト等の夏野菜を主体とした高冷地野菜生産が中心となっている。

玖珠地域は、豊かな土壌と水源に恵まれ、全国穀物食味ランキングで「特A」を受けた「玖珠米・ひとめぼれ」や豊後牛の繁殖農家、椎茸栽培が主体となっている。

日田市大山地区は、傾斜を活かした梅・プラム等の果樹栽培が盛んで、加工品や直売、農家レストラン等が有名である。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|---------|
| 軒数       | 28         | 3       |
| 最大宿泊可能人数 | 150        | 620     |
| 料金       | 1500-6800円 | —       |

## おすすめ体験学習プログラム

### 田植え体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5月中旬～6月中旬まで

【内容】

ほとんどの農家で機械による田植えを行っているが、昔の農作業を通して農業の重要性を知ってもらうため「手植え」を行う。横一線に並んで綱に沿って手で植えていきます。泥のヌルヌル感を味わったり両サイドの友達とのコミュニケーションにもつながる。

### 田畑の草刈り（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

5月中旬～11月下旬まで

【内容】

畦道や畑などの草刈りを通して、農業の重要性や昔の生活を学ぶ。

鎌を使うため指導者など補強しながら、安全に考慮して刃物の取り扱いを学ぶ。

### 川遊び（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

5月中旬～10月下旬まで

【内容】

田植えや稲刈りなど、農林業体験の後に「川遊び」として、実際に川へ入って魚つかみや川岸から魚釣り体験ができる。

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 「日本一おいしい米をつくろう」<br>in 日田玖珠                                                                                                                                                      | 実施時期 | 5月中旬～6月中旬まで<br>9月下旬～10月中旬まで |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------------------------|
| ねらい  | G-WESTは「何を体験するか」より「農山村の暮らし・体験を通じて、何を感じ学ぶか」を大切にしている。農家民宿で家庭的な交流を深めることで、児童生徒が相互に思いやり・助けあいなど「人間らしさ、生きる力」を育む体験教育旅行をめざしている。<br>さらに、教員・教育委員会や保護者、青少年健全育成協議会などの関係者との体験交流プランの提案も検討している。 |      |                             |

| 日    | 時間帯 | プログラム名                       | 学習内容                                                                                                       |
|------|-----|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 日目 | 午前  |                              |                                                                                                            |
|      | 午後  | 13:00 対面式（全体）<br>15:00 地域対面式 | 3地域全体の「対面式」（入村式）で受入農家や行政関係者と顔合わせを行い、3地域へ分散する。各地域で「地域対面式」を行い、地域散策（インストラクターが案内）後に「少年自然の家」など公共施設で宿泊           |
|      | 宿泊  | 九重少年自然の家（玖珠九重地域）             | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす                                                                                       |
| 2 日目 | 午前  | 田植え体験（5月） 稲刈り体験（9月～10月）      | 裸足になって横一列に並び、綱に沿って手植えを行う泥のヌルヌル感、カエル出現にビックリ！                                                                |
|      | 午後  | 川遊び（5月） わら小屋づくり（9～10月）       | 泥まみれの後は、小川に入り川魚取りや水遊びを楽しむ秋は「わら」を使って小屋作りで秘密基地感覚で楽しむ                                                         |
|      | 宿泊  | 農家民宿                         | 夕食も楽しく一緒に作ります。食後は昔話や悩み相談など大いに語りましょう！                                                                       |
| 3 日目 | 午前  | 鎌を使って草刈り                     | 各農家の対応になるが、田畑の畦道や民家周辺の草刈りを行う。汗をかくが、きれいになった田畑を見ると清々しい気分になる<br>各農家は田畑や森林を所有しているので、市場出荷や自家用の野菜など農林産物の収穫体験ができる |
|      | 午後  | 野菜収穫                         | 天候によってはお昼寝タイム・地域の散策に出かける。また夕食の材料確保へ畑などに出かける                                                                |
|      | 宿泊  | 農家民宿                         | 農家のお父さん・お母さんと一緒に夕食を食べましょう！                                                                                 |
| 4 日目 | 午前  | 収穫祭                          | 収穫・保存している餅米を使って、餅つきや饅頭づくりなど収穫祭（料理体験）を行う<br>農家の方とは最後の食事<br>農家で2泊3日体験を振り返る                                   |
|      | 午後  | 13:00 地域お別れ会 15:00 お別れ会（全体）  | 3地域で各々の「お別れ会」を行い、会場へ集合して3地域全体の「お別れ会」を行う<br>移動等                                                             |
|      | 宿泊  | 九重少年自然の家（玖珠九重地域）             | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす                                                                                       |
| 5 日目 | 午前  | 公共施設でできる体験                   | 冬の九重町は、本格的なスキー場がある<br>夏はキャンプも楽しめる                                                                          |
|      | 午後  |                              | 昼食後、帰路につく                                                                                                  |

## 宮崎県小林市 北きりしま田舎物語推進協議会

<http://www.kitakirishima.com>

### 問合せ先

窓口名：北きりしま田舎物語推進協議会  
住所：宮崎県小林市大字細野 300 番地  
TEL：0984-22-3020 FAX：0984-22-4177  
E-mail：k\_syoukan@city.kobayashi.lg.jp

### アクセス

最寄りの都市：熊本市  
集合場所：小林市 JT 跡地  
車の場合：90 分  
鉄道の場合：189 分



## 受入概要

本地域での受入は「ほんもの」を体験してもらうことを念頭に起き、人とのかかわりを大切にしている。

自然体験や農作業体験といった普段の生活や仕事での共通体験を通じてコミュニケーション能力を高め、インストラクターが子どもの普段では気付かない能力を見出すことにより人（子ども）が変わり、人（子ども）が高まる。机上では決して教えることの出来ない感動を伝えることが重要であると考えている。

また、広域とはいうものの、小林市は【名水と茅葺屋根生活体験】、えびの市【温泉と田の神さあ】、高原町【神話のふるさと】、野尻町【マンゴー、メロンのおいしい町】といったようにコンセプトを掲げ、地域の特徴を前面に出し、そこでしか味わえない体験を提供する。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

九州宮崎、北きりしま地域は南九州の中央部、宮崎、熊本、鹿児島島の接点にあり霧島屋久国立公園の霧島連山北東麓に位置する。

九州縦貫道路の整備により、福岡からは3時間以内、宮崎空港、鹿児島空港及び宮崎港から1時間圏内にあるなど、交通条件に恵まれた位置にある。

北きりしま地域は小林市、えびの市、高原町、野尻町の2市2町で形成され、人口は約8万人、農畜産業が盛んな地域で、県内でもその主産地として発展してきた。なかでも、平成19年度に開かれた全国和牛共進会において総合優勝を果たし宮崎牛の肉の品質の高さを証明した生産地でもある。

霧島屋久国立公園に隣接しているということもあり、多種多様な動植物の生息する自然環境の豊かな地域で、更に温泉や湧水も豊富にあり、それらを活かした環境学習等のメニューも充実している。その一つに「全国ふるさといきもの里」に認定された出の山公園のホテルは、地元小学生との交流を交えながらその生態や環境を学ぶ貴重なプログラムになっている。

### 歴史・文化的な特色

むかし、神々が降り立ったといわれる高千穂峰にまつわる神話伝説やこの地特有の「田の神さあ」、など史的財産も豊富にある。

神楽や昔から伝わる踊りなどは地元小・中学生が継承しており、交流学习の場としても活用できる。

### 農林水産業の特色

本地域は県内でも有数の農畜産地で、受入農家においても稲作や野菜栽培、果樹栽培、花栽培、酪農家、和牛生産農家、養鶏場など数多くの受け入れ態勢が整っている。また、地域をほぼ山林で囲まれていることから林業も盛んで、間伐体験や椎茸づくりなどのメニューもある。

### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 農林漁家民宿 | ホテル・旅館 | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|--------|--------|---------|
| 軒数       | 10         | 15     | 41     | 3       |
| 最大宿泊可能人数 | 50         | 60     | 2016   | 200     |
| 料金       | 1500-8400円 | 8400円  | 6000円～ | 3000円   |

## おすすめ体験学習プログラム

### 野菜栽培・収穫作業（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

宮崎の温暖な気候の特性を活かした様々な緑黄色野菜の栽培や収穫作業が体験できます。更に収穫した野菜の一番おいしい食べ方も実際に体験。

### 自然・環境体験（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

霧島国立公園内の貴重な自然環境を生かした貴重な体験プログラム。

### ハウス栽培農家体験（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

ハウス内での農作業体験（花、きゅうり、マンゴー、メロン）。

### 田舎料理体験（所要時間 200 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

地元に伝わる伝統的な料理煮染めや猪汁、なますなどを作る。収穫から全ての作業を行うので充実した体験内容である。



### 星空観察（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

全国星の降る里日本一に選ばれたこともある当地域の星空観察をとおして自然環境の大切さを学ぶ。

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 農家体験と環境学習 | 実施時期      | 通年                                                                            |
|------|-----------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------|
| ねらい  | -         |           |                                                                               |
| 日    | 時間帯       | プログラム名    | 学習内容                                                                          |
| 1 日目 | 午前        |           |                                                                               |
|      | 午後        | 受入        | オリエンテーション（インストラクター紹介 自己紹介 スケジュール説明等）その後、受入農家の周辺散策                             |
| 2 日目 | 宿泊        | 農家民泊、農家民宿 |                                                                               |
|      | 午前        | 農作業体験     | 受入農家にてそれぞれ農作業体験を行う（きゅうり栽培、稲作、果樹栽培、酪農、和牛飼育など）川や田んぼでの遊び それぞれの農家でできる周りの環境を生かした遊び |
|      | 午後        | 遊びの時間     | 魚釣りや虫取りなど大自然の中で遊び                                                             |
| 3 日目 | 宿泊        | 農家民泊、農家民宿 |                                                                               |
|      | 午前        | 農作業体験     | 受入農家にてそれぞれ農作業体験を行う（きゅうり栽培、稲作、果樹栽培、酪農、和牛飼育など）                                  |
|      | 午後        | 環境学習・工場見学 | 環境学習：出の山ホタル生息地学習、夷守台自然環境学習など<br>工場見学：清涼飲料水工場見学、ミネラルウォーター工場見学                  |
| 4 日目 | 宿泊        | 研修施設等     |                                                                               |
|      | 午前        | 研修施設の受け入れ | オリエンテーション（インストラクター紹介 自己紹介 スケジュール説明等）                                          |
|      | 午後        | 遊びの時間     | 魚釣りや虫取りなど大自然の中で遊ぶ<br>川や田んぼでの遊び それぞれの農家でできる周りの環境を生かした遊び                        |
| 5 日目 | 宿泊        | 研修施設等     |                                                                               |
|      | 午前        | お別れの会     | まとめの会 農家やインストラクターと子ども全員で交流会形式で行なう                                             |
|      | 午後        |           |                                                                               |

<http://www.city.saito.miyazaki.jp/>**問合せ先**

窓口名：宮崎県西都市役所  
 住所：宮崎県西都市聖陵町 2 丁目 1 番地  
 TEL：0983-43-1111 FAX：0983-43-2067  
 E-mail：yabuoshi@saito-city.jp

**アクセス**

最寄りの都市：宮崎市  
 集合場所：西都原ガイダンスセンター「このはな館」  
 車の場合：40 分  
 鉄道の場合：60 分

**受入概要**

- 西都市を訪れる子供たちが、農林業をはじめとする地域の生業や暮らし、そして古より続く歴史ロマンに触れるといった異日常の中で、自ら考える力や自立心を育み、尚且つ達成感を得ることで、自己形成にも寄与できる農山漁村宿泊体験にする。
- 当会は周年を通して体験を提供できる。
  - 農林業体験、郷土料理体験、古代生活体験等、全ての体験は、実際の生業や暮らし、及び歴史的史実に基づくものであり、その体験フィールドも本物を提供する。
  - 宿泊については、子供たちの安全面・衛生面を考慮し、農家民泊ではなく、旅館業営業許可に基づいた農家民宿及び公的施設にて受入れる。

**受け入れ地域の特徴****自然・地理的な特色**

西都市は、宮崎県の中央部に位置しており、東西 2.5 km、南北 4.0 km、総面積 438.56 km<sup>2</sup> の広大な市域を有している。土地利用状況は、山林が約 7 割を占める他、東西両側及び南側に形成された高台丘陵の間を貫流する一ツ瀬川及び支流の三納川、三財川の流域に平野部が広がる。気温は温暖で日照時間に恵まれており、山間部を除いて、ほとんど積雪はみられない。

受入地域の中核となるのが、特別史跡西都原古墳群を有する西都原台地となる。ここでは、春はソメイヨシノ（2,000 本）、ミツバツツジ（30,000 本）、菜の花（300,000 本）、秋はコスモス（300 万本）が咲き乱れる県内有数の花の名所として多くの人が訪れている。また「西都原グリーン・ツーリズムの会」「東米良グリーン・ツーリズム協議会」の受入地域は、施設園芸が盛んな水田地帯と林業が盛んな山間に在り、それぞれ特色ある受入が体験できる。

併せて、恵まれた気候と豊かな土壌から生み出される西都市の農作物は、全国で高い評価を得ており、「グリーンザウルス」の愛称で親しまれ生産量日本一を誇る「ピーマン」や、卓越した技術で生産され「太陽のタマゴ」の愛称で人気の「完熟マンゴー」の他、スイートコーン、完熟金柑、柚子等、様々な農作物が生産されている。

**歴史・文化的な特色**

特別史跡西都原古墳群：東西 2.6km、南北 4.2km、標高 50～80m の平坦な台地上に、4 世紀頃から 7 世紀に築造されたと推定される 300 有余基の様々な形をした古墳が点在しています。昭和 27 年には国の特別史跡に指定され、更にわが国第 1 号の風土記の丘として整備された。

記・紀の道：「古事記」「日本書紀」には日本神話の根幹を成す日向神話の記述がありますが、西都市には天孫ニギノミコトとその妃コノハナサクヤヒメにまつわる神話伝承地を結んだ、歩いて 1 時間の道程（4 km）の記・紀の道が在る。

西都市は古代日向の都として栄え、その後も政治経済の要の地として、日向の歴史に大きな役割を果たしてきたことから、市内各所に史跡や文化財が現存する。

**農林水産業の特色**

本市農業は、暖地の特性を生かした施設野菜、露地野菜、果樹、特用作物、畜産物と稲作を組み合わせた複合経営で、稲作のほとんどは超早場米の早期水稲である。園芸作物は、ピーマン、きゅうり、ニラ等の施設園芸を中心にした作物が多く、本県を代表する食料供給基地として貢献しているところである。次に本市総面積の約 7 割を占める林業については、近年の外材の輸入増加により長期にわたる材価の低迷が続くなど、依然厳しい状況にあることから、木材生産だけでなく、ゆず・しいたけをはじめとする特産物の生産振興を図るとともに、作業路開設事業、有害鳥獣駆除事業などにより、山村定住者の所得向上に取り組んでいるところである。

**宿泊施設・農林漁家民泊の概要**

|          | 農林漁家民宿      | ホテル・旅館 | 公設の宿泊施設 |
|----------|-------------|--------|---------|
| 軒数       | 9           | 7      | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 62          | 433    | 50      |
| 料金       | 3000-4500 円 | -      | 3575 円～ |

## おすすめ体験学習プログラム

### 農業体験（平野部における農業）（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年（一年を通して何らかの農作物が栽培されているので通年実施が可能となります。）

【内容】

稲作をはじめ、ピーマン・ゴーヤー等の施設野菜やブルーベリー・ミカン等の果樹栽培における各種農作業を体験。受入時期によって農作物や農作業は変わる。

### トレッキング体験（所要時間 240 分・自然・環境体験）

【期間】

4月上旬～5月下旬まで

10月上旬～11月中旬まで

【内容】

東米良地域の自然をトレッキングを通じて味わっていただく体験。春は「山桜」や「アケボノツツジ」、秋は「紅葉」が美しい山道を登った後、頂上でお弁当（郷土料理を使った）をいただき下山。

### 山里のそば打ち体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

備考：所要時間には食事の時間も含む。

【内容】

地元で採れたそばを使ってそばを打ちをし、それを食す。

### 山の恵舌鼓体験（山菜採り）（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

3月下旬～6月中旬まで

【内容】

タラの芽、ワラビ、ゼンマイ等といった山菜を、地域の野山を散策しながら収穫し、食す体験。



山里のそば打ち体験

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | ○                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 古代と現代、農業と生活                                                               | 実施時期 | 通年 |
|------|---------------------------------------------------------------------------|------|----|
| ねらい  | 児童が農家での生活に触れ、自らが家族の一員となり体験することで、食の大切さや家族の尊さを感じ、自分自身を顧みる機会にもつながっていくと考えている。 |      |    |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                       | 学習内容                                               |
|-----|-----|------------------------------|----------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 歓迎式 西都市の農業と西都原古墳群            | オリエンテーション<br>古代と現代の農業、生活についてのお話をする                 |
|     | 午後  | 対面式 平野部における農業（西都原農業体験）       | 受入れ農家との対面と、簡単な自己紹介を行う<br>宿泊先の農家が行っている農業のお手伝いをしてもらう |
|     | 宿泊  | 農家民宿                         | 家族の一員となって生活する                                      |
| 2日目 | 午前  | 平野部における農業（西都原農業体験）           | 宿泊先の農家が行っている農業のお手伝いをしてもらう                          |
|     | 午後  | 平野部における農業（西都原農業体験）と、集出荷場見学   | 午前の続きと、農協の集出荷場の見学をする                               |
|     | 宿泊  | 農家民宿                         | 家族の一員となって生活する                                      |
| 3日目 | 午前  | 東米良クラフト体験                    | オリエンテーション<br>わらぞつり（わら製品）、竹細工づくりをする                 |
|     | 午後  | 山間部における農業（東米良農業体験）と、加工処理施設見学 | ゆず又は椎茸の農業体験をして、ゆず等の処理加工施設の見学をする                    |
|     | 宿泊  | 青少年研修施設 まがたま館                | 食事は共同調理を行うなど、団体生活を送る                               |
| 4日目 | 午前  | 西都原考古博物館と、西都原古墳群見学           | 考古博物館と古墳群を専門ガイドが案内する                               |
|     | 午後  | 西都原古代生活体験館制作体験               | まが玉や縄文土器づくりを専門員の指導を受けながら行う                         |
|     | 宿泊  | 青少年研修施設 まがたま館                | 食事は共同調理を行うなど、団体生活を送る                               |
| 5日目 | 午前  | 郷土料理体験                       | 西都原に伝わる料理やそば打ちなど食に関する体験を、会員の指導の元に行い、昼食として全員でいただく   |
|     | 午後  | 振り返り 解散式                     | 今回体験したことを、各班でまとめ発表<br>オリエンテーション                    |

## 宮崎県諸塚村 諸塚村観光協会（まちむら応縁倶楽部事業部）

<http://www.vill.morotsuka.miyazaki.jp>

### 問合せ先

窓口名：諸塚村観光協会  
住所：宮崎県諸塚村大字家代 3068 しいたけの館 2 1 内  
TEL：0982-65-0178 FAX：0982-65-0189  
E-mail：ecom@vill.morotsuka.miyazaki.jp

### アクセス

最寄りの都市：日向市  
集合場所：諸塚村しいたけの館 2 1  
車の場合：60 分  
鉄道の場合：－



## 受入概要

諸塚が森と共生する文化と生活をまだ残しており、それをそのまままるごと生かせること。もう一つ、深刻な問題を抱える子どもの教育現場、そして家庭教育、社会教育現場の大人の姿勢に対し、大きな変革が迫られていることも大きな要因である。

自然と共生しながら、自然から様々なことを学ぶ村人の生活を体験する諸塚型エコツーリズムは、まだ豊かな自然と共生し、村落共同体の相互扶助の精神の残る山村を、新しい方向を目指している教育現場に環境教育の面での要請に応えられるステージとして活用することが私達の責務ではないかという考えのもとで行われている小さな村の試みである。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

九州山脈の中央に位置し、日向市に注ぐ耳川の源流域にあたる。1000m級の山々に囲まれる林野率95%の村である。諸塚村は、林業立村をスローガンに、山を守り、森林を創り、自然と共生しつつ、森の恵みを受けながらむらづくりを勧めてきた。ここは「自分のことだけでなくお互いのことを、現在のことだけでなく子や孫の代のこと」を考えながら「森に生きる村」である。

諸塚は環境と共生する林業の村です。諸塚村の体験交流事業ツーリズムは、村全体が森と共生する諸塚型エコツーリズムとして実践されている。

### 歴史・文化的な特色

神楽や祭りなど、古くからの山村文化が残り、有形、無形の文化財なども多い。森と人間が共生する森林文化が色濃く残っており、2004年には世界的な環境認証であるFSC森林認証を取得している。

### 農林水産業の特色

諸塚村の農業の概要：集落毎の棚田、段々畑での小規模栽培が主力であるため、宿泊した集落での季節に応じた収穫体験とその調理体験もできる。最近開発された高冷地園芸団地での収穫体験も可能。畜産も盛んで、和牛飼育体験は人気メニューとなっている。

諸塚村の林業の概要：林業の村であり、森林を活用した環境教育プログラムが好評である。シイタケの栽培は、日本一といわれ、受入メニューの柱になる。



## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民宿     | ホテル・旅館     | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|------------|---------|
| 軒数       | 3          | 5          | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 100人       | 110        | 30      |
| 料金       | 1000-5500円 | 5000-8000円 | 2500円   |

## おすすめ体験学習プログラム

### 牛の世話（所要時間 120 分・動物・昆虫体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

繁殖牛および子牛の配餌および手入れ、畜舎の掃除などを行う。

### しいたけ生産作業（所要時間 300 分・林業体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

しいたけの駒打ち、伏せ込み、手入れ、採取などを行う。

### 郷土料理づくり（所要時間 60 分・食の体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

椎茸や山菜、野菜など季節の旬の食材を収穫する。それを郷土料理体験に活用する。

### 丸太を使った環境教育（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

丸太を使って森林の CO2 吸収量などを試算し、森と人間生活のつながりを具体的に示す。

### しいたけ加工作業（所要時間 120 分・林業体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

乾しいたけや生しいたけの袋詰め、シール貼りなどを体験する。

### 森のお宝マップづくり（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

4月中旬～11月下旬まで

【内容】

地域の古老と一緒に集落の周辺の里山を周り、自然や文化財などを遊びながら調べていく。最後はみんなで地図をつくり記録に残す。



### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ○               | ○                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 自然と生きるプログラム                                                  | 実施時期 | 4月中旬～11月下旬まで |
|------|--------------------------------------------------------------|------|--------------|
| ねらい  | 森の役割などが自分たちの生活に密接につながることを、実際にここから感じてながら体験を行うことで、真に根付いた知恵を学ぶ。 |      |              |

| 日   | 時間帯 | プログラム名       | 学習内容                                                                              |
|-----|-----|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | オリエンテーション    | 諸塚村の概要説明、注意事項と受入側の指導者との対面                                                         |
|     | 午後  | 森の古民家        |                                                                                   |
| 2日目 | 宿泊  | 牛の世話         | 畜産振興センターで生き物の世話を体験する<br>郷土料理の食材などをくつる作業を体験                                        |
|     | 午後  | 古民家周辺で農林作業体験 |                                                                                   |
| 3日目 | 宿泊  | 森の古民家        | 丸太を使って森林の CO2 吸収量などを試算し、森と人間生活のつながりを具体的に示す<br>郷土料理の食材などをくつる作業を体験                  |
|     | 午後  | 丸太を使った環境教育   |                                                                                   |
| 4日目 | 午前  | 古民家周辺で農林作業体験 | 地域の古老と一緒に集落の周辺の里山を周り、自然や文化財などを遊びながら調べていく。最後はみんなで地図をつくり記録に残す<br>郷土料理の食材などをくつる作業を体験 |
|     | 午後  | 森の古民家        |                                                                                   |
| 5日目 | 宿泊  | 森のお宝マップづくり   | 5日間の体験のふりかえりを行う。みんなで感想を共有することで気づきの密度が上がり、参加者同士の一体感も生まれる                           |
|     | 午後  | ふりかえり        |                                                                                   |
| 5日目 | 午前  | 移動           | 諸塚村の概要説明、注意事項と受入側の指導者との対面                                                         |
|     | 午後  | オリエンテーション    |                                                                                   |

## 宮崎県五ヶ瀬町 五ヶ瀬山学校推進協議会

<http://www.gokase.org>

### 問合せ先

窓口名：NPO 法人五ヶ瀬自然学校  
住所：宮崎県五ヶ瀬町大字鞍岡 2840  
TEL：0982-73-6366 FAX：0982-73-6366  
E-mail：gns@gokase.org

### アクセス

最寄りの都市：熊本市  
集合場所：五ヶ瀬ワイナリー 駐車場  
車の場合：90分  
鉄道の場合：-



## 受入概要

五ヶ瀬地域の自然、資源、人を活かした“学習効果のあるプログラム”と“安全・安心な受入”を提供することを方針として取り組むこととし、それらの実現のために、地域内の農林家や体験指導者を対象に、人材育成を実施し、個々の児童に対してきめ細やかな配慮と家庭的な交流を提供する。

体験活動については、まずは既に行われているプログラムを元に、教師など専門家を交えて研究を重ね、学習効果の高いものへと磨き上げる。必要があれば用具なども整備する。

農業体験や食の体験に関しては、他の地域の事例調査、現地研修を行った上で、新たな組織、仕組みを作り上げる。

伝統文化体験については、各団体と協議を重ね、短時間ではあるが深みのあるプログラムになるようモニターを重ねながら研究する。必要があれば衣装や道具なども整備する。

民泊については、現在桑野内地区の9軒が既に取り組んでいるが、その9軒に学びながら鞍岡地区、坂本地区、三ヶ所地区にも新たに作り出す。同時に既存の民宿については、夕食の提供の仕方や子どもの接し方を研修し、民泊と同じ効果が出るようにする。その他宿泊施設についても協力を要請する。

## 受け入れ地域の特色

### 自然・地理的な特色

五ヶ瀬町は、九州のほぼ中央部、宮崎県の北西部に位置し、熊本県山都町（旧蘇陽町）に接する人口約 4,700 人の町である。3 時間もあれば九州内の県庁所在地まで到達することが出来る場所に位置している。

町の面積は 171.77 平方キロメートル、このうち耕地は 8.0% で、標高 300m~800m の傾斜地に点在しており、阿蘇火山灰系の土壌が大部分で地味は比較的肥沃であるため作物の生産に適している。

気象は、年間平均気温 12.5℃、年間降水量 2,400 mm、平均標高が 620m と高く、昼夜の寒暖の差が極めて大きく、南国宮崎でありながら、夏は非常に涼しく、冬は天然雪が降る。

### 歴史・文化的な特色

五ヶ瀬町の文化の特色：

大字三ヶ所：三ヶ所神社、坂本城址、広木野古墳、鳥の巣古墳、荒踊（国指定重要無形文化財）、浄専寺、浄専寺しだれ桜、専光寺、三ヶ所神社神楽、木地師伝説

大字桑野内：古戸野神社、桑野内神社、臼太鼓踊、ばんば踊り、戸田流棒術、小半田古墳、光照寺、性虎八幡宮、樺木岳城址、古戸野神社神楽、桑野内神社神楽

大字鞍岡：祇園神社、金光寺、心影太車無雙流棒術、祇園神社神楽、臼太鼓踊り、駄賃付けの歴史のある霧立越（古道）、那須大八郎の鞍、4 億 3 千万年前シルル期の化石、白岩山岩峰の高山植物群

### 農林水産業の特色

五ヶ瀬町の農業：経営高地面積は 47,725 m<sup>2</sup>、農家戸数 674 戸、農家人口 2,869 人、農地は標高 300~800m の傾斜地に階段状に点在しており、経営規模も小さく、水稻をベースに肉用牛、茶、椎茸、野菜、花き、ぶどうを組み合わせた複合経営が中心である。特に、本町の釜炒り茶「五ヶ瀬みどり」は、全国品評会等各種品評会において、農林水産大臣賞に輝く良質のお茶が生産されている。また、平成 17 年から地元で生産が始まったワインは国産ワインコンクールにおいて毎年入賞をはたす品質を誇っている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊      | 農林漁家民宿      | 農林漁家以外の民宿   | ホテル・旅館 | 公設の宿泊施設 |
|----------|-------------|-------------|-------------|--------|---------|
| 軒数       | 4           | 17          | 3           | 2      | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 16          | 68          | 95          | 116    | 25      |
| 料金       | 4500-5500 円 | 4500-5500 円 | 5500-6000 円 | 8550 円 | 3000    |

## おすすめ体験学習プログラム

### 畑の学校（所要時間 120 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

農家民泊にて、季節に合わせた畑の作業、収穫、調理体験を行う。

### 蘇陽峡カヌー体験（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

3月下旬～11月中旬まで

【内容】

五ヶ瀬川の上流部、蘇陽峡の中山ダムでの本格的なカヌーツアー。生涯スポーツ、エコツアーの道具としてカヌー操作を学ぶ。水力発電、森林環境についてなど環境教育を行う。生物観察。

### 化石の学習と祇園神社暮らしめぐり（所要時間 180 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

四億三千年前のシルル紀の化石が出る現場を見学。公民館に展示されている化石を見学。地元講師による化石の説明。祇園神社および周辺の暮らしめぐり。

### 霧立ち越えトレッキング（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

4月上旬～11月中旬まで

【内容】

五ヶ瀬ハイランドスキー場～向坂山（標高 1646m）～白岩山への周遊できるトレッキングコースを高山植物などを学習しながら歩く。ネイチャーゲームを用いて自然への理解を深める。



蘇陽峡カヌー体験

#### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ○               | ○                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 五ヶ瀬の里・山学校プログラム                                                                                                                                                                   | 実施時期 | 4月上旬～11月上旬まで |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|--------------|
| ねらい  | 児童が、五ヶ瀬地域の川・山・里を同時に体験し学習することで、山里の暮らしと自然の関わりを学ぶ。便利な暮らしに慣れてしまった児童が、昔ながら調理を体験することで、電気やガスなどのエネルギーの大切さを学ぶ。農家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培う。 |      |              |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                           | 学習内容                                                                          |
|-----|-----|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 現地までの移動                          |                                                                               |
|     | 午後  | 五ヶ瀬の里キャンプ村 入村式（地域に関する情報交換等）      | 挨拶・自己紹介、当該地域に関する情報交換、グループづくり、食材の割り出し、買い出し、野外での夕食調理体験                          |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設（五ヶ瀬の里キャンプ村）               | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす夜のネイチャーゲーム                                                |
| 2日目 | 午前  | 蘇陽峡カヌー体験（40名可、天候不良の場合、屋内メニューを提供） | 水力発電のダム湖内をカヌーで散策、水力発電と水環境、エコエネルギーについて学ぶ<br>ダム湖周辺から見える自然林と杉の人工林を比較し、森林環境について学ぶ |
|     | 午後  | 蘇陽峡カヌー体験 農家の生活体験                 | 河原でお弁当、水環境、森林環境について話し合う                                                       |
|     | 宿泊  | 農家民宿                             | 夕食後、午後の生活体験の感想を語り合う                                                           |
| 3日目 | 午前  | 農家の生活体験（全児童参加）                   | 地元山師の指導のもと、竹やぶにて竹の伐採を行う<br>伐採した竹を利用して箸、器を作る                                   |
|     | 午後  | 農家の生活体験                          | 作った箸と器で流しそうめんまたはうどんをつくって食べる<br>各農家泊先に任せて、農家の生活を体験する<br>風呂焚き、夕食づくりなど           |
|     | 宿泊  | 農家民宿                             | 農家泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食                                                            |
| 4日目 | 午前  | 農家とのお別れ 霧立ち越えトレッキング              | 朝食・片付け・清掃活動・農家への御礼の方法の検討・農家とのお別れ会<br>霧立ち越えの歴史や動植物について学習する                     |
|     | 午後  | 霧立ち越えトレッキング 五ヶ瀬の里キャンプ村にて団体生活     | プロのガイドの元、トレッキングをしながら、高山植物や動物、遠くに見える山々について学習する<br>食材の割り出し、買い出し、野外での夕食調理体験      |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設（五ヶ瀬の里キャンプ村）               | 班別にふりかえり                                                                      |
| 5日目 | 午前  | 宿泊体験活動のまとめ<br>片付けとお別れ会           | 班別に学習成果の取りまとめを行う<br>保護者宛の宿泊体験の感想を手紙にする                                        |
|     | 午後  | 学校まで移動                           |                                                                               |

## 鹿児島県南九州市 南九州市グリーンツーリズム協議会



<http://www.minc.ne.jp/~takasaki21/>

### 問合せ先

窓口名：長谷ふるさと村  
住所：鹿児島県南九州市川辺町清水3882番地  
TEL：0993-56-5465 FAX：0993-56-6720  
E-mail：info@kawanabe.info

### アクセス

最寄りの都市：鹿児島市  
集合場所：文化会館  
車の場合：60分  
鉄道の場合：-

## 受入概要

南九州市を訪れる子供たちが、農作業等の生産活動や、地域の文化、人々との交流をとおして、食の大切さや農業と日常生活のつながりを学ぶとともに、多様な環境の中で自ら考えて行動できる自立心を育むことにより、たくましい成長に寄与することのできる体験とする。

また、地域に根ざした独自の体験を提供できるように、宿泊体験スケジュール・体験プログラム等の検討会の実施や実践団体や構成員の加入促進に努め、グリーン・ツーリズムに対する理解・普及を図ります。広域的で多面的な地域の魅力発掘に努め、平和学習等新しい観光スタイルを開発していく。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

南九州市は、平成19年12月1日に、旧川辺町、旧知覧町、旧穎娃町が合併し発足した。

位置は、薩摩半島の中南部に位置し、県都鹿児島市の南西40～50kmのところにある。南は広大な東シナ海を臨み、東は指宿市、西は枕崎市・南さつま市に接している。気候は温暖で、鹿児島市から車で1時間程度の距離にある。

南薩の中央に豊かな農地が大きく広がり、農業生産収量は全国屈指で、食の拠点となっている。

知覧・穎娃地域は広大な茶畑が広がり茶の一大産地で、早堀の甘しょや野菜を中心に多くの作物が栽培され、また海にも面していて豊富な漁場ともなっている。

川辺地域は、中央部を流れる2級河川の万之瀬川をはじめ、縦横に大小様々な川が流れており、清らかで豊かな水に恵まれた水田地帯である。周囲は山に囲まれた地形で、美しい緑に囲まれている。

水田では稲作や休耕田を利用した大豆栽培が盛んに行われている。収穫された大豆は、道の駅「やすらぎの郷」で豆腐やみそなどに加工され、人気商品となっている。台地は畑作地帯として、主要品目である畜産・茶の産地となっている。

観光施設であるアグリランドえい、知覧特攻平和会館や武家屋敷群、は訪れる人が絶えない。清水岩屋公園は、自然豊かで、春は花見、夏は川を利用した流水プールやキャンプをする人でにぎわう。

### 歴史・文化的な特色

川辺にある清水岩屋公園にある清水磨崖仏群は、高さ20メートル、長さ400メートルの岩壁に、日本一の大五輪塔や月輪大梵字、十一面観音像などが刻まれており、県指定文化財に指定されている。また、伝統的工芸品「川辺仏壇」は、全国に販路を持つ屈指の仏壇がある。仏壇製造は木地製造に始まって彫刻、宮殿、金具、蒔絵加飾、塗装、金箔押といったそれぞれ高度な技術の行程を経て作られている。

また、知覧は特攻平和会館と武家屋敷群を拠点に、年間約百万人を集める県内でも有数の観光地です。知覧平和スピーチコンテストは日本全国から応募があり毎年終戦記念日に合わせて盛大に開催され、平和の大切さを全国に発信している。

### 農林水産業の特色

南九州の基幹産業は農業であり、茶やさつまいも、園芸作物、畜産では肉用牛、酪農、鶏卵等を初め県内でも有数な一大産地を形成している。特にお茶に関しては、生産量・質ともに日本一の茶産地作りを目指している。市内で生産された農畜産物は「川辺やすらぎの郷」を中心に直売所での売上げが順調に伸びている。

また、豊かな海にも恵まれ漁協を中心とした水産業も営まれ、海洋センターがあり海での体験もできる。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊 | 農林漁家民宿 | 公設の宿泊施設 |
|----------|--------|--------|---------|
| 軒数       | 45     | 3      | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 140    | 20     | 120     |
| 料金       | 6000円  | 6000円  | 6000円～  |

## おすすめ体験学習プログラム

### 畑地や水田での農業体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

水田地域では稲作や、休耕田を利用した大豆、菜種等の景観作物等の収穫や植え付け等、畑地ではサツマイモの受付や収穫、お茶摘みやお茶揉みイチゴ狩り体験等。受け入れ時期により農作物や農作業は異なる。

### 家畜の飼養管理や搾乳体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

肉用牛や乳牛の飼養体験とふれあいを体験。

### 知覧特攻平和会館見学（所要時間 60 分・その他）

【期間】

通年

【内容】

太平洋戦争末期の沖縄決戦において、特攻という作戦により、一機一艦の突撃を敢行した多くの特攻隊員の遺品や関係資料の展示を見ることができる。

### 田舎料理体験（所要時間 120 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

ジャムやだんご、そば等を作り、食す。

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| ○               | ○                 | ○         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 自然と農業にふれる                                                                                     | 実施時期 | 通年 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| ねらい  | 農業体験等を通して食の大切さを学び、生産者への感謝の気持ちを育てる。<br>地域の豊かな自然に触れて健やかな感受性をはぐくむ。<br>宿泊体験全体を通して、児童の協調性と自主性を育てる。 |      |    |

| 日    | 時間帯 | プログラム名                | 学習内容                                     |
|------|-----|-----------------------|------------------------------------------|
| 1 日目 | 午前  | 歓迎式                   | オリエンテーション                                |
|      | 午後  | 南九州市と川辺地域の農業          | 地域内の農業について説明し、現地を見学する<br>地域内の文化財や自然遺産の見学 |
|      | 宿泊  | 岩屋公園内ロッジ宿泊            |                                          |
| 2 日目 | 午前  | 農業体験                  | 宿泊農家と共に農作業の体験をする                         |
|      | 午後  | 農業体験                  | 引き続き農作業体験                                |
|      | 宿泊  | 農家民泊                  | 農家民泊体験                                   |
| 3 日目 | 午前  | 畜産農家の見学               | 肉用牛・酪農などの肥育状況を見学し、軽作業を体験する               |
|      | 午後  | J A の集出荷施設・農業機械センター見学 | 野菜集荷場屋農業機械センターの見学<br>農業研修施設や農産物直売所の見学    |
|      | 宿泊  | 長谷村体験宿泊（廃校を利用した宿泊体験）  |                                          |
| 4 日目 | 午前  | 自然体験                  | 川遊びや山歩きを通して豊かな自然と触れ合う                    |
|      | 午後  | 川辺焼見学・陶芸体験等           | 川辺焼の見学及び陶芸体験を行う<br>竹を使った竹細工体験            |
|      | 宿泊  | 長谷村体験宿泊（廃校を利用した宿泊体験）  | 集団宿泊体験                                   |
| 5 日目 | 午前  | 郷土料理体験                | 地域の方々と郷土料理を作り、昼食としていただく                  |
|      | 午後  | 解散式                   | 体験活動の感想発表などを行うお別れ会を行う                    |

## 鹿児島県伊佐市 伊佐地域ふるさと夢学校協議会



### 問合せ先

窓口名：平出水コミュニティー協議会  
住所：鹿児島県伊佐市大口平出水1358番地  
TEL：0995-22-2549 FAX：0995-22-6653  
E-mail：-

### アクセス

最寄りの都市：鹿児島市  
集合場所：大口ふれあいセンター  
車の場合：120分  
鉄道の場合：60分

### 受入概要

伊佐市を訪れる子どもたちが、農作業等の生産活動や、地域の文化、人々との交流を通して、食の大切さや農業と日常生活のつながりを学ぶとともに、多様な環境の中で自ら考えて行動できる自立心を育むことにより、たくましい成長に寄与することのできる体験とする。

当会では、学生等の体験宿泊を定期的な受け入れができ、地域の公民館を活用した体験学習の場や農作業体験を実施できる。宿泊先として、農家民泊や研修場、キャンプ場等があり、体験指導も個々の農家や民間団体、集落営農組織などが行うことから様々な環境・指導者による体験を提供することができる。

また、地域に根ざした独自の体験を提供できるように宿泊体験スケジュール・体験プログラム等の検討会の実施や実践団体や構成員の加入促進に努め、グリーン・ツーリズムに対する理解・普及を図る。

広域的で多面的な地域の魅力発掘に努め、観光スタイルを開発していく。

### 受け入れ地域の特色

#### 自然・地理的な特色

伊佐市は、平成20年11月1日に旧大口市と旧菱刈町が合併し発足した。  
位置は、鹿児島県の最北部に位置し、北は熊本県、東は宮崎県、南は始良郡及び薩摩郡、西は出水市に接しており、東西には川内川が貫流し、羽月川等の支流がこれに合流している。  
交通網は、国道267号線、268号線及び県道447号線を中心に地方道を含め比較的よく整備されている。  
周辺を九州山地の支脈に囲まれた盆地状の地形を呈しており、耕地は水田が主体の地域である。  
気温は、県内各地と比較して、いずれも低く冬季には平坦部においても零下5度に達することもあり、冬期や春先に寒害や霜害を受けることが多い地域である。  
また、この温度差の激しい内陸性の気候が伊佐の「おいしい米」を育てると言われている。空には、星空日本一に三度選ばれ、地には、おいしい伊佐米、山には、伊佐ひのき、地下には世界一の金鉱山のあるまちとして有名な場所であります。観光施設として、曾木の滝や曾木発電所跡等もあり、春には、忠元公園のさくらまつりや川内川の湯之尾可動いげき上流でのカヌー・ドラゴン大会等も有名である。

#### 歴史・文化的な特色

大口にある曾木の滝は、落差12m、滝の幅210mと広く、「東洋のナイアガラ」と称されている。加久藤火砕流の堆積物によってできたものとして千畳岩などが見られる。  
また、その下流にある旧曾木発電所は、明治39年に牛尾鉱山の排水用動力を確保するために建設された施設であり、南九州の化学工業発祥の時代の支えを成したとされ、現在では、鶴田ダムの湖底に沈む発電所として有名である。  
また、熊本県水俣市に近い大口小川内集落には、島津藩3大関所の一つである「小川内関所」があり、毎年9月頃には、集落で関所祭りを開催し、かつて偉人が通過したいにしへの薩摩街道の散策等のイベントで賑わう。

#### 農林水産業の特色

伊佐地域は、耕地面積の74%を水田が占める県内有数の水田地帯で、良質米の生産が盛んであり、農業経営としては水稻を基幹に、畜産、野菜、たばこ等を組み合わせた複合経営が主体となっている。  
また、伊佐ヒノキの産地としても有名である。

#### 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 農林漁家民宿 | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|--------|---------|
| 軒数       | 20         | 1      | 3       |
| 最大宿泊可能人数 | 60         | 10     | 60      |
| 料金       | 3000-4500円 | 3500円  | 5000円   |

## おすすめ体験学習プログラム

### 畑地や水田での農業体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

畑地ではサツマイモ収穫、水田ではコンバインによる稲刈り体験ができる。（機械操作・運転はしない）  
また、金山ねぎ・そばの収穫体験もできる。  
受け入れ時期により農作物や農作業は異なる。

### 家畜の飼養管理（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

通年

【内容】

肉用牛や肥育牛の飼養体験とふれあいを体験。

### 豆腐等の加工体験（所要時間 180 分・食の体験）

【期間】

通年

【内容】

JA伊佐で製造されている豆腐など、地域でも好評を得ている。また、地域の生活研究グループは、豆腐作り等の体験活動を支援している。

### 星空観察（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

天体望遠鏡により夜空の星座観察が体験できる。

### 郷土芸能（太鼓の演奏）体験（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

郷土芸能保存会の指導者のもと、太鼓や鐘などの演奏を行い、昔の民芸に触れることができる。



畑地や水田での農業体験

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料留意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 自然と農業にふれる                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 実施時期 | 通年 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| ねらい  | <p>農業体験や家畜とのふれあいを通じて農業の営みを体験することで、食べ物の大切さや生産者に対する感謝の気持ちを学ぶことができる。</p> <p>農家民泊や農業体験で自ら活動することで、自主性や仲間との助け合いの精神、協力心、自立心が育つ。</p> <p>農作物の生産現場や流通、また、加工品の製造過程を見学することで多くの人の力で食が守られていることを学ぶことができる。</p> <p>住友金属鉱山菱刈鉱山の見学をすることで、金鉱山の現状や自然の力の再発見ができる。</p> <p>田舎と自然の中で生活することで、自然環境への関心や自然を大切にすることが育つ。</p> |      |    |

| 日    | 時間帯 | プログラム名                   | 学習内容                     |
|------|-----|--------------------------|--------------------------|
| 1 日目 | 午前  |                          |                          |
|      | 午後  | 歓迎式                      | "オリエンテーション"              |
| 2 日目 | 宿泊  | 太鼓踊り等の歓迎セレモニー，地元小学生との交流" |                          |
|      | 午前  | いなほ館ほか                   |                          |
| 3 日目 | 午後  | 伊佐市内の農業について              | 地域内の農業について説明し、現地を見学する    |
|      | 宿泊  | 農業体験                     | "宿泊農家とともに農作業の体験"         |
| 4 日目 | 午前  | 稲刈り体験等"                  |                          |
|      | 午後  | 農家民泊                     | 郷土の家庭料理作りの体験等            |
| 5 日目 | 宿泊  | 農業体験                     | 深ネギ引き抜き農作業体験等            |
|      | 午前  | 畜産農家の体験・見学               | 肉用牛の生産・肥育状況を見学した後、軽作業を体験 |
| 5 日目 | 午後  | 農家民泊                     |                          |
|      | 宿泊  | JA カントリーエレベーター・菱刈鉱山見学    | 米の集荷・乾燥調整施設及び世界一の金鉱山の見学  |
| 5 日目 | 午前  | 自然体験，川の生き物調査             | "川遊びや散策をしながら豊かな自然と触れ合う"  |
|      | 午後  | カズラや竹細工の作成"              |                          |

# 沖縄県大宜味村 やんばる交流推進連絡協議会

<http://www.ogimi-tourism.com/>

大宜味村

## 問合せ先

窓口名：NPO 法人おおぎみまるとツーリズム協会

住所：沖縄県大宜味村田港 1357-18

TEL：0980-44-1960 FAX：0980-44-1961

E-mail：oogimi.marugoto@kugani.jp

## アクセス

最寄りの都市：那覇市

集合場所：道の駅ゆいゆい国頭駐車場

車の場合：120分

鉄道の場合：-



沖縄県

## 受入概要

世界規模で地球温暖化が進み、環境保全や環境に対する認識が国民の中でも非常に高くなっている中で、次世代を担う子どもたちに農村と都市との関わりや、自然が如何に人間に対して様々な恵みをもたらしているのか、動植物たちがどのような自然環境の中で生息しているのかということ、肌で感じるができる環境教育をメインとした体験プログラムを提供することで、子どもたちに自然環境に対して改めて考えてもらう機会を提供することが本協議会の受入方針である。具体的な受入方法としては、体験プログラムをエコツーリズム・グリーンツーリズム・ブルーツーリズム・郷土文化の4本を柱とした各種の体験プログラムを準備している。各種のプログラムには季節によって体験メニューが異なり、四季折々のプログラムの展開が可能である。また、各学校によって体験したいプログラムのニーズが必ずしも一緒でないことを踏まえ、こちらからその時期に提供できる体験プログラムを斡旋し、各学校はその体験プログラムの中から実施したい体験プログラムを選択することで、各学校オリジナルのセカンドスクールプランの構築が可能である。したがって、セカンドスクールを実施する学校のニーズに合わせたプランを受入地域である本協議会が実施することで、より中身の濃い充実したセカンドスクールが提供できることが本協議会の最大の魅力と考える。

## 受け入れ地域の特徴

### 自然・地理的な特色

国頭村は、沖縄本島の最北端に位置する村で、東は太平洋、西は東シナ海に面し、村土の84%が山林で占められ自然豊かな山紫水明の村であります。北緯26度、東経128度付近に位置し、県庁所在地の那覇から約100km、沖縄訪島北部の中心都市名護市からは約30km、鹿児島県の与論島からは約28kmの位置にあり、県内で5番目に広い194.80km<sup>2</sup>の面積を有している。

国頭村・東村地域は、沖縄本島でも手つかずの自然が多く残る森林地帯で、その森は「ヤンバルの森」と呼ばれ国内でも生物多様性に優れ、イタジイ等の原生林が覆い茂る亜熱帯照葉樹林の森である。この森の中には国の天然記念物に指定されている「ノグチゲラ」「ヤンバルクイナ」「ヤンバルテナゴコガネ」等の動物や、「慶佐次湾のヒルギ林」等の植物など、世界の中でもこの地域でしか見られない貴重な動植物たちが生息し、東洋のガラパゴスとも言われている。

### 歴史・文化的な特色

本村は20カ字の集落で形成されており、そのほとんどが海岸線に点在している。集落を結ぶ車両用道路が米軍統治下の50年前に結ばれたこともあり、各集落が特徴のある伝統文化を有している。そのほとんどが自然との関係が深く、現在でも数多くの文化行事が行われている。

- 宇佐浜遺跡（国指定史跡）：2900～2300年前の石組み住居跡遺跡
- 比地、与那区のウンジャミ（国選択無形民族文化財）：女性神（ノロ）を中心に行われる五穀豊穡の儀式
- 奥間の大綱引き（国選択無形民族文化財）：五穀豊穡を祈願して1年おきに行われる大綱引き
- 義本王の墓（村指定有形文化財）：中世の琉球国を統治した義本王の珊瑚石灰岩で作られた墓

### 農林水産業の特色

本地域は、温暖な気候に恵まれ、さまざまな農林水産物が収穫される。農作物としては、パインやシークウワサー、さとうきびなど沖縄を代表する農作物が生産されている。林業では、森林の多面的機能の1つである水源かん養の面からも沖縄県の水瓶として位置付けられ、その保全活動として間伐や造林事業を実施しており、特産林産物としてはブナシメジの生産も行われている。水産業では、イカや海ブドウ、モズクの養殖などが盛んに行われている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 農林漁家民宿 | ホテル・旅館 | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|--------|--------|---------|
| 軒数       | 101        | 4      | 2      | 2       |
| 最大宿泊可能人数 | 404        | 71     | 30     | 94      |
| 料金       | 1200-8500円 | -      | 7000円～ | 5000円～  |

## おすすめ体験学習プログラム

### さとうきび収穫体験（所要時間 180 分・農業体験）

【期間】

1月上旬～3月中旬まで

【内容】

本地域内で生産されるさとうきびの独特の釜を使った皮はぎ、ナタを使った刈り取り、肩に乗せての運搬など一連の収穫体験と現在主流となっている機械を使った収穫の体験。

### 柑橘類収穫体験（所要時間 240 分・農業体験）

【期間】

8月中旬～1月下旬まで

【内容】

本地域内で生産されるミカン（温州・カーブチー・タンカン・シークワサー等）を独特の収穫かごやはしごを使い専用はさみで一個づつ収穫し、収集用のコンテナに入れて運搬する一連の収穫体験。

### パインアップル収穫体験（所要時間 240 分・農業体験）

【期間】

8月上旬～10月下旬まで

【内容】

地域内で生産されるパインアップルの畑に入り鎌を使い一個づつ手作業での収穫する体験。



パインアップル収穫体験

### ハーリー(爬龍船競争)体験（所要時間 180 分・スポーツ・レジャー体験）

【期間】

4月上旬～10月下旬まで

【内容】

豊漁祈願のため行われているハーリーを3艘のハーリー船に乗り競争する体験。

### 戦争と平和学習のはなし（所要時間 120 分・ふるさと体験）

【期間】

通年

【内容】

地元の戦争資料集家の数多くの資料中から、国頭であった戦争体験と祖国復帰運動にまつわる話を聞く。

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | ○                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | やんばる丸がじりプラン                                                                                                                                         | 実施時期 | 通年 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| ねらい  | 児童が、やんばるの特色ある自然や農林漁業を体感し、自然の恩恵によって普段の生活が営まれていることを体感し、農林漁家泊では、普段の生活と違った環境のもとで、戸惑いながらもコミュニケーションを図ることが如何に大切か考えてもらい、さまざまな状況においても自ら考え行動していける「生きる力」を培うこと。 |      |    |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                      | 学習内容                                                                                 |
|-----|-----|-----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 現地まで移動                      | "オリエンテーション（あいさつ・自己紹介など）"                                                             |
|     | 午後  | 入村式（情報交換）                   |                                                                                      |
|     | 宿泊  | 共同調理体験"                     |                                                                                      |
| 2日目 | 午前  | 公的宿泊施設                      | "団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす"<br>"カヌー体験をインストラクターの指示のもと行う"                                   |
|     | 午後  | カヌー体験ツアー及び森林散策ツアー（班別）       |                                                                                      |
|     | 宿泊  | 森林散策をガイドの説明を受けながら体験する"      |                                                                                      |
| 3日目 | 午前  | 農林漁家等の生活体験（班別）              | 農林漁家民泊をする世帯でのさまざまな体験を行う。<br>受入世帯の方と今日の出来事を話し合い、三線を片手に一緒に沖縄民謡に触れる<br>四季折々の農産物の収穫体験を行う |
|     | 午後  | 農家民泊・農林漁家民宿                 |                                                                                      |
|     | 宿泊  | 農作物収穫体験（季節ごとに収穫するものが違う）（全体） |                                                                                      |
| 4日目 | 午前  | 農林漁家等の生活体験（班別）              | 宿泊先で、午前中にとれた食材を使って調理体験<br>受入世帯とのお別れを兼ねた夕食会<br>"お世話になった家庭の掃除や、お礼の方法を検討する"             |
|     | 午後  | 農家民泊・農林漁家民宿                 |                                                                                      |
|     | 宿泊  | 農林漁家等とのお別れ                  |                                                                                      |
| 5日目 | 午前  | 農林漁家民泊とのお別れ式"               | 沖縄はなぜ健康長寿なのか？実際にお年寄りの方を交えて一緒に調理体験をする                                                 |
|     | 午後  | 健康長寿の食体験（全体）                |                                                                                      |

## 沖縄県金武町 金武町ふれあい交流協議会

<http://www.nature-kin.com/>

### 問合せ先

窓口名：NPO法人雄飛ツーリズムネットワーク  
住所：沖縄県金武町金武11818-2  
TEL：098-968-6117 FAX：098-968-6187  
E-mail：info@nature-kin.com

### アクセス

最寄りの都市：那覇市  
集合場所：自然体験学習施設 ネイチャーみらい館  
車の場合：60分  
鉄道の場合：-



沖縄県

## 受入概要

当協議会では、金武町の伝統や文化、歴史、を伝えると共に、亜熱帯気候と温暖で豊かな自然環境を活かしたエコツーリズムの実施、また数々の出会いや、感動を提供する事を目的としている。現代の異なる生活環境の中で生徒一人一人が見聞を広め、自然環境の大切さや文化の重要性などに親しんで頂くと共に、集団生活の在り方や公衆道徳など様々な「体験」を通し、それら学びの中で「生きる力」を得る事と、そこに携わる郷土出身の方々との交流や知恵を学ぶ事を主なねらい、受入方針としている。体験プログラムに関しては豊かな自然環境を活かしたマングローブカヌー体験を初めとする自然体験学習や、学校の授業では得難い物作りの魅力や、農業の大変さを学ぶ、田芋収穫体験等の生活体験、地域の歴史や文化等について学ぶ文化体験、漁業体験など約30種類の体験プログラムを行う事ができる。体験プログラムの講師陣は全て町内の方々で構成されており、各体験は全て当協議会窓口組織であるネイチャーみらい館周辺で行える為、各学校は体験プログラムの中から実施プログラムを選択する事ができる。農林漁家民泊については『ふれあい』をテーマに飾らず奢らずありのままの自然や暮らしを提供し、受入家庭についても金武町に長年住み続け、地域を熟知し誇りを持った民家を選出し、米軍基地や捕虜施設跡地がある事から平和学習の要素も取り入れる事ができ金武町独自の農林漁家民泊の提供が出来る事が魅力である。

## 受け入れ地域の特色

### 自然・地理的な特色

金武町は沖縄本島のほぼ中央に位置し北西に恩納岳連山がそびえ、南東は太平洋に面し、勝連半島や浜比嘉等の島々と対峙するゆるやかな台地をなした風光明媚な町である。

金武町には、億首川河口に亜熱帯特有のマングローブが群生しています。沖縄本島ではもっとも植物種類数が多いマングローブ林として知られ、オヒルギ、メイヒギのほか、タコの足のような根を持つヤエヤマヒルギと億首川が北限とされるヒルギモドキ等は貴重な種類となっている。またそこではその水域に生息しないオキナワハクセンシオマネキ、ミナミコメツキガニ、オキナワアナジャコ等も観察でき、マングローブの生態系を観察するのに適している。また、マングローブ林やその周辺に広がる県内有数の水田地帯では、約160種類の野鳥が観察されるなど野鳥観察の名所としても知られています。その他にも沖縄観光名所にも選出された、『長寿の泉』とも呼ばれる金武大川（ウッカガー）や樹齢300年とも言われる伊芸区のガジュマルなど数多くの手つかずの自然、資源が残った残っている。

### 歴史・文化的な特色

金武町には様々な指定文化財がある。昭和17年に再建された観音寺は近世社寺の手法で建築されており、古い建築様式をとどめた貴重な木造建築である。その他にも慶武田川（キンタガー）や茶川（サーガ）、金武大川（ウッカガー）など豊富な湧水があり、その湧水は昔からかんばつ時にも変わる事がなく住民の飲料水や稲や田芋などを育ててきた。また、海外移民の父である当山久三翁を輩出した地であり、県下では沖縄海外移民の先駆を成した町としても知られている。

### 農林水産業の特色

金武町の基幹産業の一つである農業は、米軍基地（キャンプハンセン）の建設で多くの優良地が接収され、一時期大きく減退した。しかし、現在は土地改良など農業の基盤整備も進み、また若年農業専従者による熱帯果実や花卉等の栽培が盛んに行われるようになり、専業農家も増え、有機農法の導入など活気を取り戻している。金武町特産品の田芋は県内一の生産量を誇りその他にも水稻やさとうきび等数多くの作物が栽培されている。林業に関してはぶなしめじ生産出荷施設が供用開始されるなど、新しい林業の振興にも積極的に努めている。沿岸漁業に関しては、ソデイカ漁や、パヤオ漁その他、もずくや、海ぶどう等が盛んとなっている。畜産関係では豚が最も多く、次いで鶏卵、乳用牛となっている。

## 宿泊施設・農林漁家民泊の概要

|          | 農林漁家民泊     | 公設の宿泊施設 |
|----------|------------|---------|
| 軒数       | 35         | 1       |
| 最大宿泊可能人数 | 140        | 120     |
| 料金       | 1200-7800円 | 5500円～  |

## おすすめ体験学習プログラム

### マングロープカヌー&自然観察体験（所要時間 150 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

沖縄本島で4種類のマングロープが見られるのは金武町だけ。地元で生まれ育ったインストラクターの案内のもと、カヌーに乗ったり、マングロープの説明やその水域にしか生息しない動植物の説明などを行い、自然環境の一端を学ぶ事や環境保護の必要性などを伝え、マングロープ林にある遊歩道を歩きながら楽しく奥の深い自然環境の素晴らしさを伝える。

### シーカヤック体験&海岸観察（所要時間 150 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

手の付けられていない沖縄本島東海岸で、シーカヤックを漕ぎながら冒険心を育み爽快感を感じ、その水域に生息する魚や海の危険生物の説明などを行い、自然を守る気持ちや環境保護への意識を高める。

### マングロープ観察体験（所要時間 60 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

マングロープ林にある遊歩道を歩きながら干潟に生息する小動物等の観察を行います。自然環境の重要性を肌で実感できる。

### 野鳥観察体験（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

通年

【内容】

金武町の水田地帯では、約 160 種類の野鳥が確認されている。地元を知るインストラクターの案内で、フィールドスコープや双眼鏡を使い近くでは見る事が難しい野鳥や野生生物を観察し、生態系などの説明などを行い、日本でも見る事の珍しい野鳥などを観察する。

### たんぼ遊び体験（所要時間 90 分・自然・環境体験）

【期間】

4月～10月まで

【内容】

たんぼ遊びができるのは金武町だけである。たんぼを使用している体験プログラムは沖縄本島では金武町だけであり、普段入る事のできない水田でドッチボールや綱引きなどを行い、人とのつながりや、団結力、協調性を養うなど、普段は米や田芋などが栽培される水田で全身泥だらけになりながらみんなで楽しみながら協調性を育む。

### 受入時の安全対策

| 学校関係者向けガイドライン作成 | 受入地域内関係者のガイドライン作成 | 他安全対策資料用意 |
|-----------------|-------------------|-----------|
| -               | -                 | -         |

## おすすめのモデルプラン

| プラン名 | 金武町まるごとふれあい体験プログラム                                                                                                               | 実施時期 | 通年 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----|
| ねらい  | 様々な体験や農山地区での生活を通して、地域に暮らす人々の生き様や自然環境の大切さ文化の重要性等に親しんで頂くと共に、集団生活の在り方や公衆道徳など、それら学びの中で「生きる力」を得る事とそこに携わる郷土出身方々との交流や知恵を学ぶ事を主なねらいとしている。 |      |    |

| 日   | 時間帯 | プログラム名                                       | 学習内容                                        |
|-----|-----|----------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1日目 | 午前  | 現地までの移動                                      | "オリエンテーション（歓迎挨拶や滞在期間中の注意事項等の説明など）・各部屋への移動   |
|     | 午後  | 入館式・自然体験プログラム                                |                                             |
|     | 宿泊  | マングロープカヌー体験&自然観察・キャンプファイヤー等"                 |                                             |
| 2日目 | 午前  | 公的宿泊施設                                       | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす<br>"木工体験（流木を使いECO 箸作り） |
|     | 午後  | 伝統・文化体験                                      |                                             |
|     | 宿泊  | 共同炊飯（昼食カレー作り）"                               |                                             |
| 3日目 | 午前  | 平和学習・自然観察プログラム                               | "戦争体験者からのお話し                                |
|     | 午後  | 星空観察体験"                                      |                                             |
|     | 宿泊  | 公的宿泊施設                                       |                                             |
| 4日目 | 午前  | 農林漁家泊対面式・家業体験                                | 団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす<br>"注意事項説明・受入民家の紹介等    |
|     | 午後  | 農林漁家泊を行う世帯で様々な体験を行う。（農業・漁業・畜産・花卉・食堂など）・地域紹介" |                                             |
|     | 宿泊  | 農林漁家生活体験                                     |                                             |
| 5日目 | 午前  | 収穫した作物などを用いて夕食共同調理・家族交流等"                    | "農林漁家泊を行う世帯での様々な体験を行う（農業・漁業・畜産・花卉・食堂など）     |
|     | 午後  | 農林漁家民泊                                       |                                             |
|     |     |                                              | 夕食・片付け・一家団らん等                               |